

環 境 部

環	境	政	策	課
緑	と	公	園	課
下	水	道		課
資	源	循	環	推 進 課

環境政策課

1 環境保全審議会運営事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書271ページ〕

調布市環境基本条例第22条の規定により設置。市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するうえで、必要な事項を調査審議するもの

- (1) 委員構成等 市民（5人）、事業者（2人）、学識経験者（4人）、行政機関職員（2人）をもって組織 男9人、女4人
- (2) 審議会開催

回	開催日	内容
第1回	令和7年 5月26日	1 報告事項 次期調布市環境基本計画の策定について
第2回	令和7年 8月8日	1 報告事項 (1) 令和7年度版調布市環境白書(案)について (2) 第2回調布市環境基本計画策定委員会の実施結果について 2 協議事項 (1) 次期環境基本計画の骨子(案)について (2) 調布市地球温暖化対策実行計画の骨子(案)について
第3回	令和8年 1月21日	1 報告事項 次期環境基本計画・次期地球温暖化対策実行計画策定に向けたスケジュールについて 2 協議事項 (1) 次期地球温暖化対策実行計画(案)について (2) 次期環境基本計画(案)について
第4回	令和8年 3月30日	1 報告事項 (1) 景観計画の改定について (2) 環境基本計画について (3) 気候変動アクションプログラムについて (4) 令和7年度 PFAS 水質検査結果について

2 環境基本計画推進事業 予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書271ページ〕

環境基本計画に基づく事業の推進及び計画の見直しをするもの

- (1) 「～未来へつなぐ調布の環境～令和7年度版調布市環境白書 調布市環境基本計画令和6年度の取組実績」の発行

今後の施策の方向を含め、わかりやすく市民に伝えることを目的に、調布市環境基本計画に位置付けた施策や環境指標等に対する進捗状況及び環境に係るデータを年次報告としてまとめ、市の環境の現状や環境保全に関する取組について報告するもの

- (2) 次期調布市環境基本計画の策定

調布市環境基本条例第9条の規定に基づき、水と緑、自然環境、生活環境、脱炭素、資源循環、環境学習・協働など、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定するもの

ア 環境基本計画策定委員会

次期環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を策定するため、市民・事業者・学識経験者・教育機関の教職員等で構成する調布市環境基本計画策定委員会を設置し、計画案の検討を行った。

- (ア) 委員構成

市民（3人）、事業者（3人）、学識経験者（3人）、教育機関の教職員（2人）、市

職員（２人）をもって組織 男９人、女４人

(イ) 開催日

第１回 令和７年５月２６日

第２回 令和７年７月３０日

第３回 令和７年１０月８日

第４回 令和８年１月９日

第５回 令和８年３月３０日

イ 環境基本計画の策定に向けた環境に関する市民意識調査の実施

市民の環境に関する意識や取組の状況を把握し、計画策定や今後の施策に生かすために実施した。

(ア) 調査対象

無作為抽出した市内在住の満１６歳以上３，０００人

(イ) 調査方法

調査票を対象者に郵送。返信用封筒又はインターネットフォームで回答

(ウ) 調査実施期間

令和７年４月３０日から５月２１日まで

(エ) 回収率

１，３２３票（４４．１％）

ウ 環境基本計画・地球温暖化対策実行計画の策定に向けたワークショップの開催

計画の策定に当たり、多様な市民の意見を広く聴取し、課題解決等に向けた施策へ生かしていくため、ちょうふ環境市民会議の協力を得て開催した。

回	開催日	参加人数(人)
第1回	令和7年6月15日	21
第2回	令和7年9月7日	18

エ 調布市環境未来座談会（学生ワークショップ）

次期環境基本計画の策定に向け、次代を担う若い世代（大学生・高校生年代）の意見・アイデアを把握し、施策に生かしていくために開催した。

(ア) 開催日 令和７年９月１３日

(イ) 参加人数 ５人

オ 環境基本計画中間報告会

次期環境基本計画の策定に向け、これまでの市の取組や新しい計画の考え方について市民に発信するとともに、ちょうふ環境市民会議による市との協働での環境への取組の紹介や、著名人によるトークショーを通じて、身近な環境問題について市民の意識醸成を図った。

開催日 令和７年１１月１日（同日の環境フェア会場で開催）

カ 環境基本計画（案）に対するパブリック・コメントの実施

広く市民の意見を聴取するため、調布市パブリック・コメント手続条例に基づき、パブリック・コメントを実施した。

(ア) 意見募集期間 令和８年２月４日から３月５日まで

(イ) 意見提出者数及び提出件数 ８人 １８件

３ 駅前公衆トイレ等維持管理事業

予算科目（款・項・目） 20・05・15
〔決算書271ページ〕

公衆の利便に供するため設置した公衆トイレの環境衛生の維持及び向上を図るもの
公衆トイレ清掃管理事業

名称	清掃日数 (日)	清掃回数 (回)	備考
調布市多摩川さくら緑地公衆トイレ	260	261	調布花火2025(第40回調布花火)開催日は1日2回清掃
調布市つつじヶ丘駅北公衆トイレ	365	365	
調布市京王多摩川駅南公衆トイレ	260	261	調布花火2025(第40回調布花火)開催日は1日2回清掃
調布市深大寺前公衆トイレ	243	247	左記のほか、催事開催日や偶数週の水曜日及び毎週金曜日に「深大寺地域自然環境保全の会」が清掃
調布市飛田給駅北公衆トイレ	365	424	周辺施設で10,000人規模の催事開催日に複数回清掃
調布市布多天神南公衆トイレ	163	163	左記のほか「布多天神社地域自然環境保全の会」が催事開催日等に清掃
調布市調布駅前広場暫定公衆トイレ	49	49	1日1回清掃 令和7年5月供用終了
調布市調布駅前広場公衆トイレ	316	948	1日3回清掃 令和7年5月供用開始

4 公衆トイレ整備事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15
〔決算書271・273ページ〕

公衆の利便に供し、環境衛生の維持及び向上に資するため、公衆トイレを整備するもの

調布駅前広場公衆トイレ整備方針に基づいた調布駅前広場公衆トイレ整備工事が令和7年5月に完了し、同月20日から供用開始した。併せて、調布駅前広場暫定公衆トイレの供用を終了し、解体工事を実施した。

5 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15
〔決算書273ページ〕

飼い主のいない猫の繁殖を抑制するため、猫の不妊・去勢手術に要する費用を補助するもの

(1) 補助対象 市内在住、在勤者※

※ 令和7年度から拡大

(2) 補助上限額 雄8,000円※ 雌15,000円※

※ 令和7年度から引上げ

(3) 補助件数 雄25匹 雌25匹 合計50匹

(4) 補助人数 33人

(5) 補助総額 513,003円※

※ 補助額の上限額未満の申請があったため、上限額に補助件数を乗じた額とは一致しない

(6) 地域猫についての講演会

ア 実施日 令和7年10月18日

イ 実施場所 文化会館たづくり12階 大会議場

ウ 参加人数 58人

エ 講師 西村 麻衣子氏(むさしの地域猫の会 代表)

6 カラスの巣等撤去事業

予算科目（款・項・目）20・05・15

市民の安全な生活環境を守るため、周辺に人通りが多く緊急性があるものについて、カラスの巣及びスズメバチの巣の撤去を行うもの

- (1) カラスの巣撤去件数（戸建住宅敷地内で、人に対して威嚇するカラスの巣を対象） 0件
- (2) スズメバチの巣撤去件数 0件

7 外来種対策事業

予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書273ページ〕

東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画に基づき、アライグマ・ハクビシンによる生態系や市民の生活環境への被害を防止するため、防除を行うもの

- (1) 防除実施件数 22件
- (2) 捕獲件数
 - ア アライグマ 1頭
 - イ ハクビシン 9頭

8 地球温暖化対策事業

予算科目（款・項・目）20・05・15

〔決算書273ページ〕

地球温暖化対策実行計画に基づく目的・目標を達成するため、気候変動対策を実施するもの

- (1) 市域における温室効果ガス（CO₂）排出量

令和3年3月に策定した調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき算出した、市域全体の温室効果ガス（CO₂）排出量の状況

ア 目標

- (ア) 中期目標

令和12年度に、平成25年度比で40%削減

（総排出量46.5万t-CO₂以内） ※ 廃棄物部門を除く

- (イ) 長期目標

令和32年度に、温室効果ガス（CO₂）の排出量実質ゼロ

イ 実績（廃棄物部門を除く）

区分	平成25年度 （基準値）	令和4年度 （平成25年度比）	令和5年度 （平成25年度比）
CO ₂ 排出量 （万t-CO ₂ ）	78.1	63.3(18.9%減)	57.5(26.4%減)

※ 増減割合は、小数点第2位以下の数値も踏まえ算定

ウ 部門別排出量

（単位：万t-CO₂）

区分	平成25年度 （基準値）	令和4年度 （平成25年度比）	令和5年度 （平成25年度比）
産業部門	4.8	3.2(33.0%減)	2.3(52.6%減)
民生家庭部門	33.2	29.3(11.7%減)	26.2(21.1%減)
民生業務部門	26.1	19.4(25.8%減)	18.5(29.3%減)
運輸部門	14.0	11.4(18.6%減)	10.5(24.6%減)
【参考】廃棄物部門	1.5	1.1(27.9%減)	1.1(27.2%減)

※ 増減割合は、小数点第2位以下の数値も踏まえ算定

- (2) 家庭向け省エネ設備等導入補助事業

LED照明への切替、リユース家電、断熱フィルムの導入に対する補助を行った。

ア 補助件数 270件（LED照明220件、リユース家電28件、断熱フィルム22件）
 イ LED照明への切替えによる省エネ削減効果（年間電力使用量換算） 3,654kWh

(3) 家庭向け及び市内事業所向け断熱化改修・高効率給湯器補助事業

窓やドア等の断熱化改修、エネルギー効率が高い給湯器の導入に対する補助を行った。

補助件数 424件（断熱化改修142件、高効率給湯器282件）

(4) 市内事業所向けLED照明設置等補助事業

調布市商工会と連携し、市内事業所を対象に、省エネ診断の実施及びLED照明設備の設置補助を行った。

ア 実績 省エネ診断件数59件、補助件数50件

イ 省エネ削減効果（年間電力使用量換算） 135,655kWh

(5) ゼロカーボンシティに関する広報・啓発

ア 広報紙「ゼロカーボンシティちょうふ」の発行

市民・事業者がゼロカーボンに関する行動へ踏み出す一歩目を応援するため、ゼロカーボンに特化した広報紙（令和6年度創刊）を発行し、市報と同時に全戸配布した。

号	発行日	主な内容
No.4	令和7年11月20日	LED照明への切り替え効果、次期地球温暖化対策実行計画の策定状況、ゼロカーボンワークショップのお知らせ等

イ 「ゼロカーボンシティちょうふ」特設ホームページの開設・運営

脱炭素化に関する補助金情報や市の取組等を掲載した「ゼロカーボンシティちょうふ」特設ホームページを開設（令和7年7月公開）・運営した。

ホームページアクセス数 4,589件

ウ ゼロカーボンシティに関する啓発事業の実施

市民団体や事業者、他自治体との連携により、ゼロカーボンシティに関するイベントを8回実施し、延べ186人が参加した。

開催日	事業名	連携先	参加人数 (人)
令和7年7月30日	夏の親子向け環境講座 ガスミュージアムバスツアー	東京ガス株式会社	34
令和7年8月1日	アフラックススクエアツアー・環境ワークショップ	アフラック生命保険株式会社	36
令和7年8月27日	夏の親子向け環境講座 ガスの科学館「がすてなーに」バスツアー	東京ガス株式会社	28
令和7年9月2日	出前講座（おおまち学童クラブ）「地球温暖化と脱炭素のことを考えてみよう」	パナソニックエレクトリックワークス社	32
令和7年9月27日	脱炭素セミナー	狛江市、東京ガス株式会社、東京ガスリックリビング株式会社	18
令和7年10月12日	DIYで内窓をつくろう	ちょうふ環境市民会議	9
令和7年11月8日	脱炭素セミナー	東京ガス株式会社	8
令和7年11月16日	自然のチカラで電気をつくろう 水力発電を体験	ちょうふ環境市民会議	21

エ ゼロカーボンに関する相談事業の実施

「調布市省エネ・再エネ相談窓口」を設置し、インターネット及び電話による相談業務を行った。

問合せ件数 1,087件

(6) 市民・事業者など多様な主体との連携推進

ア ゼロカーボンワークショップの開催

市民・事業者がゼロカーボンに関する情報や知識を共に知り、共に学び、行動につなげるコミュニケーションの場を創出した。

イベント回数 8回 参加者数 延べ65人

イ 多摩地域の自治体間連携による「気候YOUTH会議」への参加

ゼロカーボンシティ実現に向けて、若者世代が気候変動問題に主体的に取り組むきっかけを提供するため、参加市に在住・在勤・在学している高校生から24歳までの参加者（調布市からは高校生2人参加）を対象に、日野市・府中市・稲城市との4市で「気候YOUTH会議」を3回、合同開催した。

(7) 市域における省エネルギー化の推進や再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取組

ア 建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度の運用

市域全域を対象に建築物への再生可能エネルギー利用設備（太陽光発電設備及び太陽熱利用設備）の設置促進を図る仕組みを構築するため、令和7年度から建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度の運用を開始した。

イ 太陽光パネル・蓄電池等共同購入事業（東京都の協定締結事業者との連携）

東京都が選定した事業者が実施する「太陽光発電及び蓄電池等の共同購入事業」の活用を促進するため、市報にチラシを折り込んで全戸配布（市の費用負担なし）するなど連携を図った。

登録件数 331件 契約数 27件

ウ エコ住宅体験会（東京都主催事業との連携）

東京都に会場（市役所前庭）を提供し、建物の断熱性能や設備のエネルギー効率が高く、太陽光発電等を導入したエコ住宅の体感イベントを開催した。

(8) 市民向けEV充電設備の設置

Terra Charge株式会社、調布市商工会及び市の三者間による連携協定に基づき、市民が利用できるEV急速充電設備を4箇所設置した。

(9) 気候変動に対する適応策としての熱中症対策の推進

暑さをしのぐための一時的な休憩場所であり、熱中症特別警戒アラート発表時には一時避難場所として開放するクーリングシェルターを指定（公共施設33施設、令和7年度新たに民間施設3施設）するとともに、PR用のぼり旗を設置した。

また、ウォータースタンド株式会社と協定を締結し、熱中症予防対策として、プラスチックごみ削減にもつながる、マイボトル用給水機を公共施設8箇所に設置した。

その他、熱中症予防の注意喚起を促す紙製うちわを作成し、調布駅前配布活動を行った。

(10) 次期調布市地球温暖化対策実行計画の策定

市民・事業者・市が気候変動へのアクションを共に進めていくため、次期地球温暖化対策実行計画となる「調布市気候変動アクションプログラム」を策定した。

ア 目指す将来像の市民投票による検討

目指す将来像の検討に際し市民投票を行い、「このまちの安心を 次世代の「あたりまえ」に～まちのチカラ みんなのチカラで ゼロカーボン～」を新たな将来像とした。

イ 温室効果ガス（CO₂）排出削減目標

平成25年度と比較した令和12年度の目標を上方修正するとともに、令和17年度の目標を新設した。

	令和 12 年度	令和 17 年度
市域における CO ₂ 排出量	46%削減	64%削減
市の事務事業における CO ₂ 排出量	65%削減	

ウ 区域施策編と事務事業編の統合

市の事務事業における取組を全市に波及させていくため、これまでの計画では個別に策定していた区域施策編と事務事業編を、一つの計画として統合した。

エ 計画の名称変更

気候変動に対する適応策の重要性も増している中、気候変動への問題意識と一人一人の脱炭素行動の重要性を強調するため、計画の名称を変更した。

オ 気候変動アクションプログラム（案）に対するパブリック・コメントの実施

広く市民の意見を聴取するため、調布市パブリック・コメント手続条例に基づき、パブリック・コメントを実施した。

(ア) 意見募集期間 令和 8 年 2 月 4 日から 3 月 5 日まで

(イ) 意見提出者数及び提出件数 6 人 12 件

(11) 市役所の事務事業から排出される温室効果ガス（CO₂）排出量

第 4 次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき算出した、公共施設（街路灯を含む。）及び車両から排出された温室効果ガス（CO₂）排出量の状況

ア 目標

(ア) 短期目標

令和 7 年度までに、令和元年度比で 8.4%以上削減

（総排出量 14,546 t-CO₂以内）

(イ) 中期目標

令和 12 年度までに、令和元年度比で 33.8%以上削減

（総排出量 10,525 t-CO₂以内）

※ 平成 25 年度（総排出量 17,543 t-CO₂）比で 40%以上削減に相当

イ 実績

区分	令和元年度 (基準値)	令和6年度 (令和元年度比)	令和7年度 (令和元年度比)
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	15,880	11,465(27.8%減)	7,373(53.6%減)

※ 国が公表する「電気事業者別排出係数－令和 6 年度実績－R 8.1.9 公表 R 8.6.4 一部更新」及び「ガス事業者別排出係数－R 7 年度供給実績－R 8.6.30 公表」の排出係数を使用

(12) 特定温室効果ガス排出量の検証

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（通称：東京都環境確保条例）に基づく特定地球温暖化対策事業所について、特定温室効果ガス排出量を検証した。

ア 対象事業所

文化会館たづくり、市役所本庁舎、グリーンホール、総合福祉センター

イ 削減義務率

特定地球温暖化対策事業所における第二計画期間（平成 15 年度から平成 17 年度まで）の平均温室効果ガス排出量（5,297 t-CO₂）を基準排出量とし、第三計画期間（令

和２年度から令和６年度まで）の５箇年分の総排出量を、基準排出量の５箇年分の合計（２６，４８５ｔ－ＣＯ_２）から２７％削減した量（１９，３３５ｔ－ＣＯ_２）に抑える義務がある。

ウ 特定温室効果ガス排出量確定値（令和６年度分）

３，０７６ｔ－ＣＯ_２（基準値比４１．９％削減）、総排出量１７，４３４ｔ－ＣＯ_２

※ 第三計画期間中の削減義務量を達成

(13) 公共施設への再生可能エネルギー１００％電力の導入

文化会館たづくり、ちょうふの里など高圧電力を受電している公共施設１３施設において、令和６年２月に策定した「調布市再生可能エネルギー１００％電力の調達に係る脱炭素化の推進に関する方針」に基づき、再生可能エネルギー１００％電力の調達を行った。

（高圧電力を受電している公共施設５９施設の電力を切替済）

(14) 壁面緑化事業

夏季の日差しを遮るため、ゴーヤ・アサガオ等で建物の一部をカーテンのように覆って壁面緑化（グリーンカーテン）を施し、公共施設における省エネルギーの推進を図った。

ア 壁面緑化を実施した公共施設数 ７施設

イ 公共施設へのゴーヤ種の配布数 ３６袋

(15) 庁用車用ＥＶ充電設備の整備

小島町１丁目駐車場に４台分の庁用車用の電気自動車充電設備を増設した。

（これまでに１４台分設置済）

９ 都市美化推進事業 予算科目（款・項・目）２０・０５・１５〔決算書２７３ページ〕

都市美化の推進を図るため、空き缶、吸い殻等の清掃活動、普及啓発等を行うもの

(1) 多摩川クリーン作戦（春及び秋）

ア 春の多摩川クリーン作戦

実施日 令和７年４月１３日 天候不良のため中止

イ 秋の多摩川クリーン作戦

実施日 令和７年１１月９日 天候不良のため中止

(2) 野川クリーン作戦

ア 実施日 令和７年１１月２２日

イ 参加団体数及び参加人数 １０団体 １３８人

(3) 調布駅前クリーン作戦

ア 実施日 令和７年５月２３日

イ 参加団体数及び参加人数 ３２団体 ３５７人

(4) 飛田給駅前クリーン作戦

ア 実施日 令和７年６月１９日

イ 参加団体数及び参加人数 ６団体 ５９人

(5) 喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン

ア 期間 令和７年１１月１３日から同月１９日までの平日５日間

イ 実施場所 市内京王線各駅周辺

ウ 開会式参加人数 市民及び事業者並びに職員 １８８人（調布駅前にて実施）

エ 延べ参加人数 市民及び事業者並びに職員 ３５７人

(6) 喫煙マナー、路上喫煙対策

ア 喫煙マナーの啓発等

市内京王線各駅周辺において、喫煙マナーの啓発用プレート、ステッカーの状況確認を行うとともに、希望する市民等に啓発用プレートを配布した。加えて、路上等喫煙禁止区域内であることを表示するため、区域内の市道を中心に路面タイルの設置を行った。

イ 路上等喫煙禁止区域パトロール

主に路上等喫煙禁止区域内において、区域内であることの周知、指導を行うとともに、周知用看板、横断幕等の維持管理を行うため、業務委託によりパトロールを実施した。調布駅周辺については、夜間パトロールも実施した。

(7) 駅周辺マナーアップ清掃

京王多摩川駅周辺 8回実施

ア 延べ参加人数 市民及び事業者並びに職員 92人

イ 清掃時に収集した吸い殻本数 2,687本

(8) 地域団体等の自主的な地域清掃の支援

自主的な清掃活動を実施する自治会などに対し、ゴミ袋の提供及び清掃用具の貸出しを行った。

(9) スポーツごみ拾い（共催）

調布駅前商店街との共催により、「スポGOMI大会 in 調布」を実施した。

ア 実施日 令和7年11月1日 ※ 環境フェアと同日開催

イ 参加チーム数及び参加人数 34チーム 125人

(10) 美化推進重点地区の指定

調布市都市美化の推進に関する条例に基づき、特に美化を推進する必要がある、かつ、地域の方々の美化意識が高く、積極的な美化活動を進めている地区を「美化推進重点地区」に指定している。

令和7年度現在、市内における美化推進重点地区は10地区となっている。

(11) ハト等給餌対策

公共の場所におけるハト、カラス等鳥類への餌やりを禁止することを定めるため、調布市都市美化の推進に関する条例の一部改正を行った（令和8年4月1日施行）。

10 環境フェア事業

予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書273ページ〕

市民団体・事業者・行政等が協働で環境に関する情報を発信し、環境問題への来場者の関心を喚起し、環境意識の醸成を図る目的から開催するもの

(1) 実施日 令和7年11月1日 午前10時から午後3時まで

(2) 会場 市役所前庭及び文化会館たづくり北側道路

(3) 内容 環境保全活動などのパネル展示及び各種催し

(4) 出展団体数 24団体

(5) 来場者数 延べ5,800人

11 環境学習支援及び推進事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書273ページ〕

調布市環境基本計画に基づき、パートナーシップと市民参加による環境学習の場の提供と支援を行うもの

(1) 環境モニター事業

多摩川河川敷における秋の植生調査 1回

(2) 調布水辺の楽校事業

ア 野外イベント 2回

イ 延べ参加人数 59人

(3) 環境情報通信作成事業

「ちょうふ環境 こども新聞」(小・中学生向け)

(4) こどもエコクラブ事業

ア 調布こどもエコクラブ事業 3回 ※ 第4回は降雪により中止

イ 延べ参加人数 140人

ウ 名簿登録 小学生33人

(5) 雑木林ボランティア講座事業

ア 講座及び体験活動 6回

イ 延べ受講者数 86人

ウ 環境活動ボランティア人材登録者 3人(受講者の15%)

(6) ちょうふ環境市民会議運営事業

ア 環境保全団体・市民の交流事業「第17回環境活動交流会 グリーンインフラ・樹林地の役割」

(ア) 実施日 令和8年2月1日

(イ) 参加人数 21人

イ 自然環境活用事業

環境保全学習講座「深大寺・佐須地区の国分寺崖線とその生物相の変遷～湧水保全の意義について～」

(ア) 実施日 令和8年3月8日

(イ) 参加人数 32人

(7) 東京都立農業高等学校神代農場活用事業

「神代農場の豊富な湧水を散策～カブトムシの幼虫プレゼント～」

ア 実施日 令和7年11月22日

イ 参加人数 23人

12 深大寺・佐須地域環境資源活用事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15

[決算書273ページ]

深大寺・佐須地域の自然環境の保全・活用を推進するため、各種事業を実施するもの

(1) 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進

都市農地と国分寺崖線の緑等の里山風景を保全するために公有地化した調布市深大寺南町1丁目3番地先、調布市深大寺南町2丁目9番地1、調布市深大寺南町2丁目19番地3の土地において、マインズ農業協同組合と連携し、環境保全意識の啓発に向けた取組を実施した。

ア 対象地域の保全、水田及び畑の耕作

イ 環境学習事業

(ア) 対象 市民等、柏野小学校や晃華学園の児童

(イ) 参加人数 延べ1,245人

(2) 佐須農^{26のり}の家貸出事業

深大寺・佐須地域などの雑木林、都市農地等で形成される里山の環境を、市民等が維持して

いくことを目的とした活動及び里山等の歴史や文化を広める活動を支援する施設である「佐須^{みのり}農の家」の貸出しを行った。

ア 貸出件数 7件

イ 貸出人数 延べ38人

(3) 農業用水路現況・測量調査

深大寺・佐須地域の原風景の中心をなす農業用水路について、劣化状況を把握するとともに、親水化検討のための基礎資料とするため、東京都立農業高等学校神代農場南端出口から野川合流点までの約2,500mの現況調査・測量を行うもの

ア 調査内容

(ア) 農業用水路状況（目視による破損箇所の確認）

(イ) 平面測量、縦断測量及び横断測量

(ウ) 聴取調査

イ 調査結果

全体的に経年劣化が確認されたが、漏水等、緊急対応が必要な箇所は認められなかった。

13 多摩川自然情報館運営事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書273・275ページ〕

多摩川を中心とした自然環境を学べる展示室や学習室を備えた環境学習施設として展示や各種イベントを開催するもの

(1) 入館者数及び学習室貸出状況

学習室貸出件数(件)	延べ学習室貸出人数(人)	延べ入館者数 (学習室貸出人数を含む)(人)
4	23	3,640

※ 空調及び照明設備改修工事に伴い、令和7年10月から令和8年1月まで臨時休館

(2) ボランティア解説員

館内での解説やイベント対応等の活動をするもの

登録人数(人)	延べ活動時間(時間)
44	31

(3) 展示

No.	内容
1	多摩川の紹介パネル3枚
2	調布市多摩川自然情報館と多摩川パネル1枚
3	調布市を流れる多摩川のいきものパネル1枚
4	調布市で見られるセミのパネル2枚
5	調布市で見られるバッタのパネル3枚
6	調布市で見られるカメのパネル2枚
7	調布市内の多摩川で見られる魚類のパネル3枚及び補足資料(カマツカ・レッドデータブックの解説)2枚
8	調布市内で見られる植物のパネル4枚
9	調布市内で見られる鳥類のパネル3枚
10	調布市内で見られるテントウムシのパネル2枚
11	調布市内で見られる哺乳類のパネル2枚
12	調布市にも生息しているアズマモグラの生態紹介パネル2枚

13	多摩川上流に生息するニホンジカの角及びパネル1枚
14	海洋プラスチックごみ問題を取り上げたパネル2枚
15	条件付特定外来生物(アカミミガメ・アメリカザリガニ)解説パネル改訂版2枚
16	夏休み自由研究支援パネル+自由研究用の配布資料
17	生態展示「おさかなコーナー」「こんちゅうコーナー」(魚類・爬虫類・両生類・甲殻類・昆虫類)
18	特定外来生物(コクチバス)の生態展示
19	鳥類・爬虫類・昆虫類・植物標本などの立体展示
20	過年度業務の職場体験で製作された展示物(生き物の一生・生き物のシルエット・多摩川の生き物を模したモビール等)一式
21	多摩川に生息する哺乳類・鳥類の足跡パネル
22	調布市いきものフォトコンテスト～感じよう！生物多様性～入賞作品展
23	市民から提供された情報等を展示(調布市で見られる鳥や植物、昆虫標本等)
24	ボトルアクアリウム(多摩川の水草を瓶に入れ生態系を再現)
25	多摩川で見られる在来植物(オオイヌタデ・キンミズヒキ・クサヨシ・ケキツネノボタン・ゲンノショウコ・セリ・ナガエミクリ・ネジバナ・ヒメガマ・ミゾソバ・ミツバアケビ・ヤズソウなど)を鉢植え展示
26	特定外来生物オオキンケイギクの標本1枚
27	多摩川に生育する植物の標本一式

(4) 環境学習イベント

開催日	事業名	講師	参加人数(人)
令和7年5月18日	初夏の多摩川・植物観察会	のん氏(365日野草生活)	17
令和7年6月8日	双眼鏡がなくても楽しめる親子野鳥観察会	多摩川自然情報館解説員	29
令和7年8月3日	めざせバッタマスター	多摩川自然情報館解説員	57
令和7年9月27日	多摩川の水辺の生き物観察会	多摩川自然情報館解説員	6
令和7年9月28日	きて！みて！さわって！自然ってふしぎ～なんでもありの自然観察会～	多摩川自然情報館解説員	40
令和7年12月21日	冬の自然観察とオーナメントづくり	多摩川自然情報館解説員	8
令和8年1月18日	野鳥写真家に学ぶ多摩川の鳥類観察会	叶内拓哉氏(野鳥写真家)	16
令和8年2月28日	めざせ多摩川の石マスター！『ホルンフェルス』ってどんな石？	多摩川自然情報館解説員	40

(5) その他のイベント・連携事業

開催日	事業内容	参加人数(人)
令和7年9月28日	富士見台小学校3年生の環境学習施設見学／屋外観察会	75
令和7年10月31日	第二小学校1・2年生の環境学習自然観察会	160

募集期間	事業内容	応募点数(点)
令和7年8月5日～11月30日	調布市いきものフォトコンテスト2025～感じよう生物多様性～	66

14 湧水保全事業

予算科目（款・項・目） 20・05・15〔決算書275ページ〕

地下水及び湧水の保全・回復や雨水の流出抑制を図るために、雨水浸透ます及び雨水タンクの設置を促進するもの

- (1) 雨水浸透ます設置基数 1件 1基
- (2) 雨水タンク設置補助基数 5基

15 河川水質等調査事業

予算科目（款・項・目） 20・05・15〔決算書275ページ〕

河川環境の改善を図るため、水質等を調査するもの

- (1) 河川水質調査項目数 (単位：項目)

調査日		令和7年 6月5日	7月9日	9月3日	11月6日	11月12日	令和8年 2月18日
地点							
多摩川	狛江市境	48			21		
	ワンド						
野川	橋場橋		14	14		14	14
	狛江市境	44		14	21		14
深大寺用水	野川流入前		12	9			
佐須用水	野川流入前		12	9			
	農場下		12	9			
仙川	東一の橋		14	14		14	14
	柳川橋	21		12	21		
府中用水	多摩川流入前	21			22		
入間川	都橋			9			
測定項目	生物化学的酸素要求量、浮遊物質、溶存酸素量、水素イオン濃度、大腸菌群数、全窒素、全リン、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、電気伝導度等						

- (2) 河川水生生物調査

水生生物から見る水質

水質	A:きれいな水域	B:わりあいきれいな水域	C:汚れている水域	D:とても汚れている水域
指標水生生物	カワゲラ類 サワガニ	スジエビ カワニナ	ヒル類 ミズムシ	イトミミズ 赤色ユスリカ
調査日	令和7年11月20日			
河川名	多摩川	仙川	野川	佐須用水
地点	多摩川 狛江市境	東一の橋 柳川橋	橋場橋 狛江市境	野草園 野川手前
底生生物	B	A～C	B～C	A～C
付着藻類	A～B	A～B	B	B

16 大気汚染測定調査事業

予算科目（款・項・目） 20・05・15
〔決算書275ページ〕

市域における大気汚染の状況について測定するもの

- (1) 大気汚染に係る環境基準

ア 一酸化炭素 1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

イ 浮遊粒子状物質 1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値

が 0.20 mg/m³以下であること。

ウ 二酸化窒素 1時間値の1日平均値が0.04 ppmから0.06 ppmまでの範囲内又はそれ以下であること。

エ 光化学オキシダント 1時間値が0.06 ppm以下であること。

オ 微小粒子状物質 (PM2.5) 1年平均値18 µg/m³以下であり、かつ、1日平均値が35 µg/m³以下であること。

(2) 測定結果

測定の種類		常時監視測定局 (固定式)		仮設測定局 (移動式)		
測定地点名称		市役所 屋上	下石原 交差点前	多摩川1丁目 鶴川街道	つつじヶ丘 児童館	深大寺 児童館
測定場所		小島町 2丁目35番 地1	富士見町 2丁目11 番地	多摩川 1丁目51番地	西つつじヶ丘 3丁目19番地 1	深大寺東町 5丁目14番 地1
測定期間		通年		令和8年 2月2日～ 10日	令和8年 2月10日～ 18日	令和8年 2月18日～ 26日
測定項目	環境基準を超過した日数(日)					
	一酸化炭素 CO		0	0	0	0
	浮遊粒子状物質 SPM	0	0	0	0	0
	二酸化窒素 NO ₂	0	0	0	0	0
	光化学オキシ ダント OX	96	88			
	微小粒子状物質PM2.5		2	0	0	0
	年平均値					
	窒素酸化物 NOx (ppm)	0.011	0.018	0.045	0.035	0.013
	風速 (m/s)			0.4	0.9	1.1
	温度 (℃)	17.4				
	湿度 (%)	65				
	年総量					
	雨量 (mm)	840				

17 公害関係法律等に基づく事務事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15
[決算書275ページ]

公害の発生を防止するため、各種届出の受理等を行うもの

- (1) 大気汚染防止法に基づく石綿関係届出等 特定粉じん排出等作業実施届出3件、完了報告2件
- (2) 騒音規制法に基づく届出 特定施設7件、特定建設作業等109件
- (3) 振動規制法に基づく届出 特定施設2件、特定建設作業等20件
- (4) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく届出

ア 工場設置認可・変更認可等件数 設置認可1件、変更認可1件

イ 指定作業場受付件数 設置 1 件、変更等 1 件

ウ 各種届出

(ア) 工場に関する届出 地下水揚水量 10 件、氏名変更等 5 件

(イ) 指定作業場等に関する届出 地下水揚水量 21 件、氏名変更等 6 件

(ウ) 石綿含有建築物解体工事計画届及び報告 0 件

(5) 公害に関する苦情受付件数 (単位：件)

区分	大気	悪臭	汚水	騒音	振動	その他	合計
件数	6	19	2	55	3	5	90

(6) 光化学スモッグ発令回数及び被害者届出数

東京都による発令（中部地域）を市内各施設に連絡した。

学校情報(回)	注意報(回)	警報(回)	市内被害者数(人)
13	3	0	0

18 地下水汚染調査事業 予算科目（款・項・目） 20・05・15 [決算書 275 ページ]

地下水の汚濁状況を監視するため、井戸の水質を調査するもの

(1) 調査項目 4 項目（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、四塩化炭素）

(2) 調査年月日 令和 8 年 1 月 26 日・27 日

(3) 調査井戸 8 本

(4) 有機溶剤検出井戸 6 本（うち、環境基準不適合井戸 2 本）

(5) 不検出井戸 2 本

19 有機フッ素化合物（PFAS）対策事業 予算科目（款・項・目） 20・05・15 [決算書 275 ページ]

井戸・湧水における有機フッ素化合物（PFAS）の水質検査を行うもの

(1) 有機フッ素化合物（PFAS）の指針値について

環境省は令和 7 年 6 月 30 日付け環水大管発 2506309 号環境省水・大気環境局長通知「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について（通知）」において、水環境に係る指針値として 50 ng/L（PFOS 及び PFOA の合算値、以下「指針値」と記載）を設定

(2) 市が管理する防災井戸等の水質検査

ア 検査項目 3 項目（PFOS、PFOA、PFHxS）

イ 検査箇所

(ア) 防災井戸 29 箇所

(イ) 湧水 1 箇所

ウ 検査結果及び専門家からのコメント

(ア) 検査数値は検査を実施した 28 箇所全てで、指針値以下（防災井戸 2 箇所について湧水等のため採水不能）

(イ) 専門家からのコメント

a 東京農工大学 高田秀重名誉教授（専門：有機化合物（化学）・調布市環境保全審議会会長）

「今回調査・分析した調布市所有の防災井戸 27 地点と湧水 1 地点、計 28 地点全て

からPFAS（PFOS、PFOA）が検出されたが、いずれもPFASの指針値の50ng/Lを下回っていた。また、これらの地下水は飲用には供されていない。

これらを考慮すると、調布市内の地下水のPFAS汚染による市民の健康リスクは、現状、小さいと考えられる。しかし、調査した全地点でPFASが検出されたことと、半数以上の23地点のPFAS濃度が指針値（50ng/L）と同じ2桁台であることを考えると、今後もモニタリングを継続し、安全・安心を確認することが望まれる。」

- b 東京大学 徳永朋祥教授（専門：地圏環境システム学・東京大学大学院新領域創成科学研究科）

「調査対象の防災井戸等は飲用に供していないとのことですので、引き続き飲用とはしないということについて市民の方々と理解を共有いただくことが重要と考えます。市としてこのような調査を継続して行い、また、その結果を市民の方々へもお伝えされていることについては、今後もぜひ続けていただきたいと思います。」

なお、検査されている項目の濃度に加え、地下水位や、他の水質項目の特徴の情報収集や整理も進めていただき、地域の地下水の現状をよりよく知ることにも努めていただくことを期待しています。」

- c 東京都立大学 奥真美教授（専門：環境規制（法学）・調布市環境保全審議会副会長）

「調布市では令和5年度から継続して市が管理する防災井戸等の水質調査を実施しています。3年間の経年変化を見ると、初年度に暫定指針値が超過していた一部の箇所も含めて、令和7年度は調査対象となった全ての箇所で指針値内に収まる結果となっています。今後も、経年的な傾向を把握して、状況を分析・評価したうえで、適切な対応につなげていくとともに、市民等に対してタイムリーで的確な情報発信を徹底していただくようお願いします。」

(3) 市以外が管理する市内井戸の水質検査

- ア 検査項目 3項目（PFOS、PFOA、PFHxS）
イ 検査箇所 井戸の管理者が希望した44箇所
ウ 検査結果 井戸の管理者へ個別に通知

20 地下水汚染浄化対策事業 予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書275ページ〕

地下水の改善を図るため、多摩川3丁目市有地内の井戸水を浄化するもの

平成12年時点で環境基準の1,300倍だったテトラクロロエチレンの濃度は、継続的な浄化の結果、令和7年度は0.0042mg/ℓで、基準値以下に低減

揚水原水濃度の推移（公定法）

（単位：mg/ℓ）

		テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	シス-1,2ジクロロエチレン	クロロエチレン※
環境基準値 mg/ℓ		0.01	0.03	0.04	0.002
令和5年度	令和6年3月8日	0.0063	0.086	0.79	0.0013
令和6年度	令和7年3月11日	0.0063	0.068	0.64	0.0012
令和7年度	令和8年3月9日	0.0042	0.069	0.91	0.0045

※ 平成30年度から土壌汚染対策法運用指針の変更により調査項目に追加

21 自動車騒音常時監視事業

予算科目（款・項・目）20・05・15

道路周辺地域の環境改善を図るため、市内の主要幹線道路を対象として、面的評価支援システム（※）により、自動車騒音を測定するもの

(1) 各区間の評価結果

道路名 (通称名)	評価区 間番号	基準点騒音 レベル		残留騒音 レベル		達成率 (%)		達成戸数 (戸)		全戸数 (戸) ※B
		(デシベル)※A								
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
一般国道20号	17010	71	67	43	39	98.2	94.1	6,535	6,260	6,650
太田調布線	40680	63	60	40	36	99.9	99.9	4,179	4,178	4,181
調布田無線	40720	61	58	38	38	99.8	99.8	724	724	725
調布田無線	40760	63	60	45	45	99.4	89.5	668	602	672
町田調布線	41240	67	62	45	41	99.8	99.8	1,358	1,358	1,360
武蔵野狛江線	60140	63	59	47	41	99.5	99.0	216	215	217
武蔵野狛江線	60150	63	60	37	38	99.8	99.8	694	694	695
武蔵野狛江線	60220	62	59	37	36	99.8	99.7	876	875	877
調布経堂停車場線	60260	60	54	47	42	100.0	99.8	794	793	794

※ 面的評価支援システム

一定の住居範囲におけるある1点（※A）で測定した騒音から、当該居住範囲の全戸（※B）の騒音を推計する新たな騒音の計測方法をいう。

(2) 騒音・振動測定結果

(単位：デシベル)

測定地点			西つつじヶ丘3丁目19番地1地先	仙川町2丁目6番地5地先	深大寺北町7丁目6番地10地先	富士見町2丁目16番地33地先	多摩川2丁目26番地先
路線名 (通称名)			国道20号 (甲州街道)	国道20号 (甲州街道)	調布田無線 (武蔵境通り)	調布田無線 (武蔵境通り)	町田調布線 (鶴川街道)
測定期間			令和8年2月9日・10日				
騒音	騒音要請限度 (主要幹線道路沿い)	昼夜	75 70	75 70	75 70	75 70	75 70
	環境基準値	昼夜	70 65	70 65	70 65	70 65	70 65
	騒音測定結果 (等価騒音レベルの年平均値)	昼夜	71 67	69 67	61 58	63 60	67 62

振動	振動要 請限度	昼 夜	65 60		65 60	65 60	
	振動調 査結果 (等価振 動レベ ルの平 均值)	昼 夜	45 40		46 41	37 34	

22 放射線量測定事業

市民の不安の解消を図るため、放射性物質の測定を行うもの
空間放射線簡易測定

(1) 測定場所及び測定頻度

市民の安全・安心の観点から、空間放射線量を市内４施設で毎月１回測定を実施した。

1	2	3	4
調布ヶ丘児童館	染地児童館	上布田公園	八雲台公園

(2) 測定機器 ホリバ製 P A - 1 0 0 0 R a d i

(3) 測定結果

全ての施設において、国の除染基準除染要件を超える数値は確認されなかった。

※ 環境省「放射性物質汚染対処特別措置法」に基づく除染関係ガイドライン（平成２３年１２月第１版）」で、除染要件を $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 以上（地表 $50 \sim 100 \text{ cm}$ ）としている

(4) 測定結果の公表

定点４箇所について、市報及び市ホームページで公表した。

23 畜犬登録等事務事業

予算科目（款・項・目） 20・05・15
〔決算書 275 ページ〕

狂犬病の予防等を図るため、犬の登録、鑑札の交付等を行うもの

(1) 登録等の状況（総数）

- ア 新規登録 583 件
- イ 鑑札再交付 68 件
- ウ 鑑札無料交付 296 件
- エ 転出 254 件、死亡 611 件
- オ 注射済票交付 6,490 件
- カ 注射済票再交付 24 件

(2) 狂犬病予防集合注射接種

- ア 実施日 令和 7 年 4 月 15 日から同月 19 日までの 5 日間
- イ 実施場所 陵山公園、若宮八幡神社、仙川仲よし公園、上ノ原公園、すわくぼ児童遊園、石原小前公園、青渭神社、くすのき第 1 児童遊園、調布市役所駐車場
- ウ 注射済票交付 498 件 ※ うち、注射済票交付のみ 7 件
- エ 新規登録 4 件
- オ 鑑札再交付 1 件

(3) 犬の飼い方教室

ア テーマ わんわん防災セミナー
 イ 実施日 令和7年7月21日
 ウ 実施場所 文化会館たづくり8階 映像シアター
 エ 参加人数 37人
 オ 講師 西村 トシオ氏（東京都動物愛護推進員）

24 シックハウス症候群対策事業

予算科目（款・項・目）20・05・15

健康被害を防止するため、室内化学物質の放散に関する対策を実施するもの。シックハウス症候群対策として、市民からの要望により民間住宅の室内化学物質測定を行うもの
 室内化学物質簡易測定件数 0件

25 空き地管理適正化事業

調布市空き地管理の適正化に関する条例に基づき、空き地の所有者等へ適切な管理を求めるもの

空き地管理への苦情等処理状況（単位：件）

	民有地	公有地
委託処理	0	0
自主処理依頼	18	2
合 計	18	2

26 屋外広告物関係事業

良好な景観の形成、公衆に対する危害の防止等を図るため、屋外広告物に規制を行うもの

(1) 屋外広告物許可申請事務（市経由東京都許可分 歳入は東京都）

種類	申請件数 (件)	広告物数 (基)	手数料算定数量(点)	単価 (円)	小計 (円)
広告塔	11	11	321(5㎡の個数)	3,220	1,033,620
広告板	142	339	712(5㎡の個数)	3,220	2,292,640
小型広告板	2	2	2(小型広告板の数)	400	800
合計	155	352			3,327,060

(2) 屋外広告物許可申請事務（市許可分）

広告物の種類	申請件数 (件)	広告物数 (基)	手数料算定数量(点)	単価 (円)	小計 (円)
広告板	136	650	940(5㎡の個数)	3,220	3,026,800
立看板等	9	45	45(立看板等の枚数)	450	20,250
広告幕	13	56	56(広告幕の張数)	990	55,440
広告旗	0	0	0(広告旗の本数)	450	0
合計	158	751			3,102,490

(3) 違反屋外広告物除却枚数

（単位：件）

事業 種類	職員による 簡易除却	市民による 除却活動	合計
はり紙	269	11	280
はり札	88	0	88
立看板	8	0	8

その他	200	0	200
合計	565	11	576

27 公共工事環境配慮指針

市が行う公共工事における環境への配慮を推進することを目的に、一定規模以上の公共工事を対象に、計画段階から着実に環境配慮を行うため、環境配慮チェックシートにより供用開始段階まで進行管理をしていくもの

対象工事要件

区分	対象工事	面積	金額	備考
		どちらか一方に該当していれば対象		
土木工事	公園・緑地の整備	1,000㎡以上	1,000万円以上	補修工事及び施設の更新を除く
	下水道の整備		3,000万円以上	
	道路の新設・拡幅	幅員12m以上		
	道路の改修		3,000万円以上	
	駐輪場の整備	500㎡以上		
建築工事	新築、増築・改築 解体・撤去	500㎡以上	3,000万円以上	
	改修		5,000万円以上	
その他工事(設備工事等)			5,000万円以上	

令和7年度対象工事件数 土木工事11件、建築工事5件、その他工事（設備工事等）1件

緑 と 公 園 課

1 公遊園数 予算科目（款・項・目） 40・15・20 [決算書327～329ページ]

市民の快適な空間づくりとして、親しみのある利用しやすい公遊園を設置し、市民に提供するもの

(1) 公遊園数

種 別			令和 6 年度末		令和 7 年度末		面積比較
			数	面 積(㎡)	数	面 積(㎡)	
都 市 公 園	公 園		111	249,808	111	249,807	▲1
	土地所有者	市	107	121,944	107	121,944	0
		国・都	11	126,340	11	126,339	▲1
		民有地	1	1,524	1	1,524	0
	児童遊園		98	53,989	98	53,989	0
	土地所有者	市	77	28,608	77	28,608	0
		国・都	8	4,068	8	4,068	0
		中日本高速道路株式会社	7	12,772	7	12,772	0
		民有地	12	8,541	12	8,541	0
	仲よし広場			21	53,685	21	53,685
土地所有者	市	12	11,871	12	11,871	0	
	国・都	3	34,509	3	34,509	0	
	民有地	9	7,310	9	7,310	0	
合 計			230	357,482	230	357,481	▲1

※1 所有者欄の数は、複数の人が所有者である公遊園等があるため、合計と一致しない。

※2 四捨五入しているため、面積の合計、面積比較の値が一部一致しない。

2 公遊園等年間使用許可状況

予算科目（款・項・目） 40・15・20

[決算書327～329ページ]

地域のコミュニケーション醸成や市民団体の活動支援のため、広く市民に開放し、一部の使用を許可し、貸出しするもの

(単位：件)

区 分	件 数	内 訳	
		公共事業	その他
多摩川児童公園	40	29	11
深大寺自然広場	109	11	98
そ の 他	217	90	127
計	366	130	236

3 野草園入場者数 予算科目（款・項・目） 40・15・20 [決算書327～329ページ]

水と緑の保全のため、自然と共生できる場として野草園を設置し、さらに、昔から多摩地域周辺に自生していた野草を保護するために育成管理をし、市民に一般公開するもの

年 度	開園日数(日)	入場者数(人)
-----	---------	---------

5	178	6,255
6	179	5,315
7	181	5,486

- 4 公遊園等修繕件数 予算科目（款・項・目）40・15・20〔決算書329ページ〕
市民が快適で安全に公遊園等を利用できるようにするため、遊具その他について、修繕するもの
(単位：件)

区 分	遊 具	給排水設備	電気設備	フェンス等	その他	計
公 園	2	5	0	0	2	9
児 童 遊 園	6	4	0	1	1	12
仲よし広場	0	2	0	0	0	2
緑道緑地等	0	0	0	0	1	1
そ の 他	0	1	0	0	0	1
計	8	12	0	1	4	25

- 5 公遊園等清掃協力者数 予算科目（款・項・目）40・15・20〔決算書329ページ〕
市内の公遊園等を衛生的に維持するため、地域の団体に協力を依頼しているもの
(単位：件)

区 分	自治会	子ども会	その他	計
公 園	3	0	6	9
児 童 遊 園	3	0	5	8
仲よし広場	2	0	0	2
計	8	0	11	19

- 6 深大寺・佐須地域農業公園管理・運営 予算科目（款・項・目）40・15・20
〔決算書329ページ〕

深大寺・佐須地域農業公園は、市民との協働の下、崖線や都市農地等の緑の保全、農の風景を継承する取組として、「農のあるまちづくり」の拠点として、令和6年7月に開園した。

(1) 利用者数等

開園月	開園日数(日)	利用者数(人)
令和7年4月	21	435
5月	23	475
6月	21	593
7月	22	453
8月	22	343
9月	20	317
10月	23	530
11月	23	478
12月	20	491
令和8年1月	20	465
2月	20	427

3 月	20	571
合計	255	5,578

(2) 市民参加型体験イベント

農にふれることができる機会を創出するため、市民参加型の体験イベントを企画・開催した。

開催日	イベント名	参加者数(人)
令和7年7月19日	上手な土の耕し方&畝づくり	2
7月27日	とれたて夏野菜を味わおう	19
9月28日	野菜の収穫体験&空き缶ごはんでカレーを食べよう	16
11月23日	農業公園で焼き芋を食べよう	27
令和8年1月17日	農業機械で冬の畑を耕そう	26
1月25日	お花で染めもの体験&羽釜ごはんランチ	27
2月14日	落ち葉を集めて堆肥をつくろう	19
2月22日	大豆からみそをつくろう	33
合計		169

7 公遊園等補修及び新設工事

予算科目(款・項・目) 40・15・20

[決算書329ページ]

地域のコミュニティの核となる空間として、親しみのある利用しやすい安全な公遊園等を維持していくため、老朽化が著しい施設を、順次、補修及び新設整備するもの

種 別	工 事 件 名(内容)	所 在 地
補修及び 新設工事	調布市上布田公園トイレ設置工事	調布ヶ丘1丁目24番地1
	調布市下布田公園トイレ設置工事	布田2丁目26番地4
	調布市八雲台公園トイレ設置工事	八雲台1丁目42番地1
	調布市上石原児童遊園トイレ設置工事	上石原1丁目24番地22
	上記以外の整備・補修工事 指示件数 18 件 28 箇所	
長寿命化計画 に伴う更新	9公遊園(10基) 上記以外の長寿命化計画推進工事 指示件数2件9箇所	
実施設計など	調布市上ノ原公園及び柴崎公園トイレ設置工事設計業務委託	柴崎2丁目6番地6、柴崎2丁目28番地2
	(仮称)仙川町2丁目仲よし広場実施設計委託	仙川町2丁目8番27号の一部
	八雲台公園周辺実施区域機能再編整備プラン策定業務委託	八雲台1丁目42番地1ほか
	令和7年度実篤公園法面詳細設計委託	若葉町1丁目23番地20ほか
	令和7年度入間町2丁目緑地法面予備設計等委託	入間町2丁目28番地
	令7若宮自然広場実施設計委託	上石原2丁目47番地1ほか
公遊園等調査	令和7年度調布市遊具点検業務委託	八雲台1丁目42番地1ほか

	令和7年度ホタル類の生息環境調査及び整備方針等の検討業務委託	深大寺南町1丁目25番地
	調布市上布田公園水質調査分析業務委託	調布ケ丘1丁目24番地1
	調布市公遊園等樹木健全度調査及び管理指針作成に向けた調査業務委託	
工事監理	調布市上布田公園トイレ設置工事監理業務委託	調布ケ丘1丁目24番地1
	調布市下布田公園トイレ設置工事監理業務委託	布田2丁目26番地4
	調布市八雲台公園トイレ設置工事監理業務委託	八雲台1丁目42番地1
	調布市上石原児童遊園トイレ設置工事監理業務委託	上石原1丁目24番地22

8 公遊園・緑地等の用地取得 予算科目（款・項・目）40・15・20〔決算書329ページ〕

緑の基本計画の基本方針の一つである「調布らしい多様な緑をまもり、活用する」取組として、崖線周辺の一体的な緑の保全・強化のため、崖線樹林地の用地取得を行うもの

緑の基本計画の将来目標の公園整備面積、市民一人当たり面積5.5平方メートルの確保や市の特徴的な緑を保全するため、公園用地等を取得するもの

種 別	名 称	所 在 地	面積(㎡)
公遊園等	深大寺・佐須地域 ふれあいの里	佐須町4丁目40番1、2、3、4、5、6	1,724

9 ガーデニング講座 予算科目（款・項・目）40・15・25〔決算書331ページ〕

自宅でガーデニングを行うための講義と実技を通し、市民の緑化に対する理解を深めるために実施するもの

年度	開催日	受講者数(人)	内容
5	令和5年11月12・13日	9、12	ビオラを中心とした寄せ植え
	令和5年12月9日、11日	10、10	クリスマスローズを中心とした寄せ植え
6	令和6年11月30日	19	ビオラと葉牡丹で作るリース型バスケット
	令和6年12月11日	20	お正月の寄せ植え
7	令和7年12月14日	17	ビオラを中心とした寄せ植え
	令和8年1月17日	20	ヒヤシンスを中心とした寄せ植え

10 樹木せん定入門講座 予算科目（款・項・目）40・15・25〔決算書331ページ〕

自宅の庭木等のせん定方法についての講義と実技を通し、市民の緑化に対する理解を深め、技術の習得の一助とするために実施するもの

年度	開催日	受講者数(人)	内容
5	令和5年10月7日	28	(一社)東京都造園緑化業協会派遣の講師(市内造園業者)による講義及び実技指導
6	令和6年10月19日	22	(一社)東京都造園緑化業協会派遣の講師(市内造園業者)による講義及び実技指導

7	令和7年10月5日	24	(一社)東京都造園緑化業協会派遣の講師(市内造園業者)による講義及び実技指導
---	-----------	----	--

11 公遊園等樹木管理 予算科目(款・項・目) 40・15・25 [決算書331ページ]

崖線樹林地や公遊園等の樹木を守るため、民間事業者に委託し、移植やせん定を実施し、適切に維持管理をするもの

種別	公園数(件数)
年間管理で樹木管理を実施した公園数	多摩川緑地公園、柴崎公園ほか24公園
上記以外で移植・せん定を実施した件数	神明児童遊園ほか87件

12 崖線等管理 予算科目(款・項・目) 40・15・25 [決算書331ページ]

調布市緑の基本計画で「保全」を掲げた市の緑の骨格をなす崖線を守り育てるため、管理をするもの

名 称	面積(㎡)	管 理 内 容
仙 川 崖 線	9,200	刈込(1回) 清掃(6回) 除草(4回) 草刈り(1回) あずまや清掃(12回) 地被植物等管理(1回) 地被植物等施肥(1回) 施設保守点検(4回)
国分寺崖線	2,036	清掃(6回) 草刈り(1回) 地被植物等管理(1回) 地被植物等施肥(1回) 施設保守点検(4回)
布 田 崖 線	2,369	清掃(6回) 除草(3回) 草刈り(1回) 地被植物等管理(1回) 地被植物等施肥(1回) 施設保守点検(4回)
補修工事	上記管理以外の崖線緑地等補修工事 指示件数4件4箇所	

※ 上記面積は、年間管理を実施している面積のため、実際の崖線面積とは異なる。

13 緑化事業等調査 予算科目(款・項・目) 40・15・25 [決算書331ページ]

崖線樹林地の保全・活用を図るための指針となる崖線樹林地保全計画等の策定や計画策定のための基礎調査を実施するもの

種別	概要
崖線樹林地等計画	入間町2丁目緑地の測量調査・植生調査を実施
緑の基本計画	調布市緑の基本計画事業の進捗状況に関する年次報告書を作成

14 緑と花の祭典 予算科目(款・項・目) 40・15・25 [決算書331ページ]

緑の基本計画に掲げる基本目標「みんなで育む自然豊かなまち」・施策方針「協働による緑のまちづくりの推進」に基づき、市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進を図るため、開催するもの

- (1) 開催(年2回) (春) 令和7年4月26・27日
(秋) 令和7年11月1・2日
- (2) 会場 市役所前庭
- (3) 来場者数 3,051人(春1,408人、秋1,643人)
- (4) 実施内容 花の種無料配布、緑の募金、クラフト体験、緑化相談、ブルーベリー等苗木無料

15 花いっぱい運動事業費補助金交付

予算科目（款・項・目） 4 0 ・ 1 5 ・ 2 5

〔決算書 3 3 1 ページ〕

花いっぱい運動を行う市民団体に、その運動のための経費を補助することにより、花や緑のまちづくりを推進するもの

年 度	団体数(件)	件 数(件)	実施場所面積(㎡)	助成金総額(円)
5	51	93	2,992	788,800
6	52	97	2,657	800,400
7	56	96	2,685	760,200

16 緑の保全に関する補助金交付

予算科目（款・項・目） 4 0 ・ 1 5 ・ 2 5

〔決算書 3 3 1 ページ〕

緑の保全・育成のため、市が指定する保全地区等の土地所有者等に補助金を交付するもの

(1) 保全地区

年 度	件 数(件)	面 積(㎡)	補助金(円)
5	17	17,489	9,539,710
6	17	17,489	9,558,410
7	16	16,955	9,350,740

(2) 保存樹木

年 度	件 数(件)	本 数(本)	補助金(円)
5	214	2,888	11,651,190
6	230	2,982	11,677,400
7	233	3,117	11,976,200

(3) 保存生け垣

年 度	件 数(件)	延 長(m)	補助金(円)
5	83	10,760	3,228,000
6	89	10,824	3,237,290
7	89	11,037	3,256,170

17 生け垣新設に関する補助金交付

予算科目（款・項・目） 4 0 ・ 1 5 ・ 2 5

〔決算書 3 3 1 ページ〕

新たに生け垣を設置した人に対し、経費を補助することにより、緑の創出を推進するもの

年 度	生 け 垣 新 設			生け垣新設のため撤去した塀等		
	件数(件)	延長(m)	補助金(円)	件数(件)	延長(m)	補助金(円)
5	0	0	0	0	0	0
6	1	5	50,000	0	0	0
7	1	7	70,000	0	0	0

18 保存樹木等せん定補助金交付

予算科目（款・項・目） 4 0 ・ 1 5 ・ 2 5

〔決算書 3 3 1 ページ〕

対象となる保存樹木をせん定した人に対し、その経費を補助することにより、樹木の保全や緑化を推進するもの

年 度	件 数(件)	本 数(本)	補助金(円)
5	42	205	12,367,500
6	36	160	12,223,600
7	39	213	12,502,200

19 開発行為に伴う緑化指導

緑を創出するため、開発行為等に当たって、緑化指導を行うもの

(単位：件)

年 度	集合住宅	宅地開発	そ の 他	合 計
5	12	23	6	41
6	10	18	6	34
7	14	12	5	31

下 水 道 課

1 下水道使用料の徴収状況

予算科目（収益的収入／款・項・目）01・01・01

（下水道事業会計）〔決算報告書39ページ〕

公共下水道の汚水処理に要する経費を賄い、快適な市民の生活環境を維持するため、調布市下水道条例第12条に基づき、公共下水道の利用者に対し、使用した汚水の量に応じ徴収したもの

（単位：円）

区 分		5年度	6年度	7年度
現年度調定分(円)	件数(件)	1,592,492	1,612,794	1,618,770
	調定額	1,993,678,898	2,041,464,273	2,009,829,941
	収入済額※	1,823,074,941	1,839,726,445	1,840,664,428
	不納欠損額	2,017	4,954	2,695
	未収金残高※	170,601,940	201,732,874	169,162,818
	徴収率(%)※	91.4	90.1	91.6
過年度調定分(円)	調定対象期間	平成30年度～ 令和4年度	令和元(平成31) 年度～令和5年度	令和2年度～ 令和6年度
	件数(件)	79,694	92,062	86,868
	未収金額	186,112,966	183,236,766	201,864,945
	過年度更正額	-1,155	-28,327	-375,662
	収入済額	172,845,819	182,433,670	200,801,726
	不納欠損額	631,166	642,698	498,545
	未収金残高	12,634,826	132,071	189,012
	徴収率(%)	92.9	99.6	99.7
合計(円)	調定額＋未収金額	2,179,791,864	2,224,701,039	2,211,694,886
	過年度更正額	-1,155	-28,327	-375,662
	収入済額	1,995,920,760	2,022,160,115	2,041,466,154
	不納欠損件数(件)	1,160	1,206	1,099
	不納欠損額	633,183	647,652	501,240
	未収金残高	183,236,766	201,864,945	169,351,830
	徴収率(%)	91.6	90.9	92.3
減免	件数(件)	38,256	37,754	37,615
	減免額	13,389,600	13,213,900	13,165,250

※ 現年度調定分に係る収入済額は、各年度末（3月31日）時点の額であり、各年度の3月調定分のうち、翌年度（4月1日以降）の収入となる額については、未収金残高に計上される。このため、現年度調定分に係る徴収率については、3月調定分のうち、4月1日以降の収入となる額が反映されていない数値となる。

2 一般会計からの負担金

予算科目（収益的収入／款・項・目）01・01・02

（下水道事業会計）〔決算報告書39ページ〕

予算科目（収益的収入／款・項・目）01・02・02

（下水道事業会計）〔決算報告書39ページ〕

予算科目（資本的収入／款・項・目）01・06・01

（下水道事業会計）〔決算報告書40ページ〕

下水道事業の経営に伴う収入を充てることが適当ではない経費又は客観的に困難な経費につい

て、地方公営企業法第17条の2及び第17条の3に基づき、一般会計が負担したもの

(1) 雨水処理負担金（款1下水道事業収益 項1営業収益）（単位：円）

区 分	5年度	6年度	7年度
維持管理費	823,651,310	1,031,893,296	701,310,174
資本費(減価償却費)	247,627,849	240,809,123	236,906,855
資本費(資産減耗費)	294,269	213,466	12,096,984
資本費(企業債支払利息、企業債取扱諸費)	38,548,940	42,650,097	54,814,259
合 計	1,110,122,368	1,315,565,982	1,005,128,272

(2) 他会計負担金（款1下水道事業収益 項2営業外収益）（単位：円）

区 分	5年度	6年度	7年度
流域下水道の建設に要する経費 (企業債支払利息分)	16,093,510	15,539,172	15,399,218
下水道に排除される下水の規制に関する事務に要する経費(水質規制費)	2,293,593	2,513,535	2,593,923
高度処理に要する経費 (維持管理費分)	12,580,339	12,663,852	11,261,855
高度処理に要する経費(資本費分)	1,310,000	1,310,000	1,310,000
児童手当に要する経費 (収益的支出職員人件費分)		710,000	1,240,000
その他の維持管理に要する経費	8,191,700		5,781,903
合 計	40,469,142	32,736,559	37,586,899

(3) 他会計負担金（款1資本的収入 項6他会計負担金）（単位：円）

区 分	5年度	6年度	7年度
流域下水道の建設に要する経費 (企業債償還金分)	52,705,435	54,478,973	56,842,592
児童手当に要する経費 (資本的支出職員人件費分)	440,000	520,000	240,000
合 計	53,145,435	54,998,973	57,082,592
(1)から(3)までの総合計 (一般会計からの負担金)	1,203,736,945	1,403,301,514	1,099,797,763

※ 国の繰出金に関する通知に基づく経費のほか、市の政策的な理由により下水道事業が負担することが適当ではない経費を計上

3 その他の主な収益

予算科目（収益的収入／款・項・目）01・01・90

（下水道事業会計）〔決算報告書39ページ〕

予算科目（収益的収入／款・項・目）01・02・08

（下水道事業会計）〔決算報告書39ページ〕

下水道使用料、一般会計からの負担金以外の主な収益（単位：円）

区 分	5年度	6年度	7年度
維持管理負担金 (項1営業収益 目90 その他営業収益)	31,321,116	7,742,840	7,086,449
	府中市維持管理負担金 (上石原3丁目19号幹線 補強工事・草刈・水位 計システム利用料等)	府中市維持管理負担金 (草刈・しゅんせつ・ 水位計システム利用料 等)	府中市維持管理負担金 (草刈・樹木せん定・ 水位計システム利用 料)
預金利息 (項2営業外収益 目1 受取利息及び配当金 節1預金利息)	13,272	805,133	4,770,625
	普通預金	普通預金	普通預金・定期預金

下水道施設占用料 (項2営業外収益 目8 雑収益 節2雑収益)	2,705,249	2,705,449	16,409,252
	ガス管・NTT通信線・ 光ファイバーケーブル 等	ガス管・NTT通信線・ 光ファイバーケーブル 等	ガス管・NTT通信線・ 光ファイバーケーブル 等
指定寄附金 (項2営業外収益 目8 雑収益 節2雑収益)		1,779,133	
		近藤勇生誕190周年記 念デザインマンホール 蓋設置に係るクラウド ファンディング	

※ 営業収益及び営業外収益については、100万円以上の主な収益を計上

4 かんきょ 管渠の維持管理

予算科目(収益的支出/款・項・目) 01・01・01

(下水道事業会計) [決算報告書39ページ]

快適な市民の生活環境を維持するため、下水道機能を維持・管理したもの

(1) 浸水対策事業

(単位:円)

件 名	5年度	6年度	7年度
雨水管理総合計画策 定等検討委員会委員 謝礼		169,200	94,000
雨水管理総合計画策 定等検討委員会委員 旅費		1,286	
雨水管理総合計画策 定支援委託料	11,625,050	14,630,000	5,500,000
根川雨水幹線維持管 理負担金(浸水対策)	12,429,302	72,748,575	
合 計	24,054,352	87,549,061	5,594,000

(2) 地震対策事業

(単位:円)

件 名	5年度	6年度	7年度
地震対策委託料	11,440,000		
	地震対策計画策定に向 けた基本方針検討		
合 計	11,440,000		

(3) 老朽化・劣化対策事業

(単位:円)

件 名	5年度	6年度	7年度
管路予防保全型維持 管理業務包括的民間 委託事業者候補選定 委員会委員謝礼	18,800		
管路清掃委託料(計 画清掃)	64,340,866	2,420,572	3,245,456
	・管渠清掃19,690m ・雨水吐口点検176回 ・調布排水樋管点検8 回 ・汚泥運搬・処理56t ・汚水ます及び取付管 清掃6箇所 ・TVカメラ調査196m	・汚泥処理26.1t ・雨水吐口点検22回 ・調布排水樋管点検4 回 令和6年度から、管渠 清掃、汚泥運搬等は、 管路施設包括的民間委 託料へ科目移動	・汚泥処理40.14t ・雨水吐口点検28回
次期ストックマネジ メント計画策定委託 料		12,980,000	
管路予防保全型維持	7,370,000		

管理業務包括的民間委託導入準備支援委託料	・ 参入予定業者の意向確認のためのサウンディング調査を実施 ・ プロポーザルを実施し、優先交渉権者を選定		
管路補修工事費(計画補修)		4,678,759	18,171,615
		市道路面下空洞対応4箇所	市道路面下空洞対応12箇所
ストックマネジメント補修工事費			15,084,509
			ストックマネジメント修繕工事6箇所
管路施設包括的民間委託料(老朽化・劣化対策)		67,309,000	69,663,000
		詳細は(7)管路施設包括的民間委託料に掲載	詳細は(7)管路施設包括的民間委託料に掲載
次期官民連携手法導入検討委託料		19,921,000	20,559,000
		ウォーターPPP導入可能性に向けたサウンディング調査を実施	ウォーターPPP導入可能性に向けたサウンディング調査を実施
合 計	71,729,666	107,309,331	126,723,580

(4) 維持補修費 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
汚水ます移設等工事費	14,644,131	15,871,027	16,229,855
	新設・移設38箇所	新設・移設33箇所	新設・移設29箇所
管路補修工事費	223,600,212	163,925,159	155,994,125
	・ 汚水ます補修15箇所 ・ 取付管補修47箇所 ・ 道路陥没件数9件 ・ マンホール蓋取替169箇所 ・ 市道路面下空洞対応7箇所 ・ 上石原3丁目19号幹線補強工事	・ 汚水ます補修27箇所 ・ 取付管補修49箇所 ・ 道路陥没件数9件 ・ マンホール蓋取替131箇所	・ 汚水ます補修16箇所 ・ 取付管補修9箇所 ・ 道路陥没件数6件 ・ マンホール蓋取替122箇所
補修工事用原材料費	10,514,900	15,126,100	13,579,500
	マンホール蓋及び受枠166組	・ マンホール蓋及び受枠224組 ・ デザインマンホール蓋10基、受枠5基	・ マンホール蓋及び受枠170組 ・ デザインマンホール蓋5基、受枠5基
合 計	248,759,243	194,922,286	185,803,480

(5) 合流式下水道改善事業 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
雨天時水質調査委託料	6,050,000	令和6年度から、管路施設包括的民間委託料へ科目移動	
	雨天時水質調査2箇所		
合 計	6,050,000		

(6) 水質規制（下水道に排除される下水の規制に関する事務） (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
排水設備検査済標印刷製本費	193,050		222,750
特定施設等水質検査委託料	2,568,610	令和6年度から、管路施設包括的民間委託料	
	・ 特定事業場調査84回		

	・クリーニング場調査8回	へ科目移動	
水質検査業務共同実施に係る費用負担金	756,119	811,416	844,363
	接続点調査(流域下水道)30回	接続点調査(流域下水道)30回	接続点調査(流域下水道)30回
合 計	3,517,779	811,416	1,067,113

(7) 管路施設包括的民間委託料

(単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
統括管理業務		29,725,300	29,705,500
老朽化・劣化対策事業(再掲)		67,309,000	69,663,000
情報管理業務		6,523,000	6,523,000
		・各業務のデータベース化 ・維持管理情報の分析 ・活用検討	・各業務のデータベース化 ・維持管理情報の分析 ・活用検討
伏越清掃及び点検業務		24,673,000	27,027,000
		清掃及び点検5箇所	清掃及び点検12箇所
管渠清掃及び汚泥運搬業務		29,590,000	29,590,000
		・管渠清掃15,312.7m ・汚泥運搬26.1t	・管渠清掃12,631.21m ・汚泥運搬40.14t
管路施設等修繕		6,523,000	6,523,000
		93箇所	30箇所
調布幹線等しゅんせつ業務		5,949,900	
		調布幹線・羽毛下幹線(3,982m)のしゅんせつ その他補修工事	
雨天時水質調査業務		6,050,000	6,050,000
		雨天時水質調査2箇所	雨天時水質調査2箇所
水質調査分析業務		3,043,700	3,043,700
		・特定事業場調査14事業所20地点 ・クリーニング場調査8事業所8地点	・特定事業場調査14事業所20地点 ・クリーニング場調査8事業所8地点
管理用地草刈業務		8,833,000	8,833,000
		調布幹線・羽毛下幹線ほか管理用地草刈3回(7箇所)	調布幹線・羽毛下幹線ほか管理用地草刈3回(7箇所)
ポンプ保守及び災害準備		1,172,600	1,172,600
		始動保守点検4回(3台) 排水点検2回	始動保守点検4回(3台) 排水点検2回
初動対応業務		11,286,000	11,330,000
		・平日夜間249日 ・休日116日	・平日夜間248日 ・休日117日
ストックマネジメント計画に基づく点検業務		12 建設改良事業に掲載	12 建設改良事業に掲載
合 計		133,369,500	129,797,800

(8) その他の維持管理

(単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
下水道台帳システム	6,176,601	8,955,365	8,064,548

管理費			
下水道台帳システムデータ更新等委託料	3,487,798	6,483,917	5,564,644
下水道台帳システム保守点検委託料	1,642,300	1,980,000	2,090,000
下水道台帳システム借上料	787,730	405,240	405,240
下水道台帳システム消耗品費	258,773	86,208	4,664
下水道積算システム管理費	1,890,407	1,890,407	1,890,407
下水道積算システム借上料	1,446,720	1,446,720	1,446,720
下水道積算システム代価利用料	443,687	443,687	443,687
水位計・カメラ等システム管理費	5,331,480	5,350,290	5,399,240
水位計・カメラ等インターネット利用料	830,280	830,280	830,280
水位計・カメラ等システム利用料	4,501,200	4,520,010	4,568,960
陥没等待機委託料	11,104,170 ・平日夜間244日 ・休日122日	令和6年度から、管路施設包括的民間委託料へ科目移動	
管路清掃委託料(緊急清掃)	151,426 緊急清掃4回	3,473,208 緊急清掃18回	11,185,617 緊急清掃24回
草刈委託料	12,471,921 調布幹線・羽毛下幹線ほか管理用地草刈	5,239,854 管理用地樹木剪定7箇所 令和6年度から、調布幹線・羽毛下幹線ほか管理用地草刈は、管路施設包括的民間委託料へ科目移動	9,078,678 管理用地樹木剪定10箇所
管路維持管理設計・測量・調査等委託料	3,517,576 調査測量等	612,602 調査測量等	1,433,931 調査測量等
管路建設改良工事基本設計委託料		41,306,100 ・調布都市計画道路3・4・17号線下水道基本設計 ・野川流域河川整備計画に係る下水道施設(吐口)改修事業	
排水ポンプ保守及び訓練支援等委託料	4,172,960	令和6年度から、管路施設包括的民間委託料へ科目移動	
根川雨水幹線維持管理負担金(通常管理)	11,084,031	8,310,829	8,518,254
三鷹市污水处理負担金	2,501,820	2,804,644	2,855,628
三鷹市雨水貯留施設維持管理負担金	161,090	161,090	161,090
その他の維持管理費	1,079,107	902,337	1,429,283
上下水道料(調布排水樋管)	20,064	20,064	14,916

土地賃借料	461,176	70,720	662,668
伏越マンホール ポンプ電気料	196,158	237,478	243,192
調布排水樋管電 気料	157,161	164,990	164,708
都・国道等工事 監督負担金	45,078	184,865	112,514
下水道賠償責任 保険料	199,470	199,470	205,160
CADソフトウェアメンテナンス ・サブスクリプション利 用料		24,750	26,125
合 計	59,642,589	79,006,726	50,016,676

5 仙川汚水中継ポンプ場の維持管理 予算科目（収益的支出／款・項・目）01・01・02

（下水道事業会計）〔決算報告書39ページ〕

周辺より地形が低くなっている緑ヶ丘・仙川町（約60ヘクタール）から排水される汚水を、
有人監視により排水ポンプで公共下水道幹線へ圧送するポンプ場を維持管理するもの（24時間
365日稼働）。

なお、ポンプ場（昭和52年度竣工）は老朽化を踏まえ、今後も汚水を安定して処理するた
め、下水道管路による自然流下方式へ切り替え、令和7年1月に稼働を停止した。

(1) 維持管理 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
光熱水費（上下水道 料・ガス料金）	57,853	47,042	
管理・点検等委託料	50,601,670	47,461,419	
	・総合管理 ・消防設備保守点検 ・清掃（沈砂池・施設） ・汚泥運搬・処理 ・汚水ポンプ点検 ・監視制御設備保守点 検 ・電気工作物保守点検 ・投込圧力式水位計整 備点検	・総合管理 ・消防設備保守点検 ・清掃（沈砂池・施設） ・汚泥運搬・処理 ・汚水ポンプ点検 ・監視制御設備保守点 検 ・電気工作物保守点検 ・投込圧力式水位計整 備点検	
動力費（電気料）	2,532,847	2,645,950	
その他のポンプ場費	1,941,581	128,756	87,400
	・土地賃借料 ・小口修繕料 ・火災・損害保険料 ・消耗品費	・消火器設置等手数料 ・土地賃借料 ・火災・損害保険料 ・消耗品費	・土地賃借料 ・火災・損害保険料
合 計	55,133,951	50,283,167	87,400

(2) エネルギー使用量及び汚水流入量

年度	年間電力 使用量(KWH)	年間ガス 使用量(m³)	年間CO2排出 量(kg-CO2)	年間汚水 流入量(m³)	1日最大量 (m³)	1日平均量 (m³)
5	97,434	322	37,295	693,228	8,568	1,896
6	88,474	233	36,575	629,472	8,640	2,064
7						

※ 排水ポンプ3台配置（1台当たり4.55m³／分、晴天時排水能力5,760m³／日）

6 流域下水道への排水 予算科目（収益的支出／款・項・目）01・01・03

公共下水道に排水された汚水と雨水を、東京都下水道局が管理する流域下水道（流域下水道野川第一幹線、流域下水道調布幹線、森ヶ崎水再生センター等）に排水し処理したもの

年度	流域下水道維持管理 負担金 (円)	対象処理水量 (m^3)	うち汚水量 (m^3)	うち雨水量 (m^3)
5	1,527,835,040	39,480,982	24,161,946	15,319,036
6	1,631,739,634	42,165,994	24,242,235	17,923,759
7	1,384,145,689	35,767,887	24,382,616	11,385,271

7 下水道事業の情報発信

予算科目（収益的支出／款・項・目）01・01・04

下水道の取組や経営状況に関する市民理解を育むため、下水道事業の情報発信を行ったもの

区 分	5年度	6年度	7年度
マンホールカード	ゲゲゲの鬼太郎マンホールカード ・当年度配布枚数7,934枚 ・令和元年8月からの累計配布枚数29,338枚	ゲゲゲの鬼太郎マンホールカード ・当年度配布枚数8,347枚 ・令和元年8月からの累計配布枚数37,685枚	ゲゲゲの鬼太郎マンホールカード ・当年度配布枚数8,430枚 ・令和元年8月からの累計配布枚数46,115枚 新選組局長近藤勇生誕190周年デザインマンホールカードを作製 ・当年度配布枚数11,000枚
市ホームページを活用した情報発信	・浸水被害軽減に向けた取組を公開 ・小学生の夏休み自由研究向けコンテンツを拡充	・マンホール蓋を活用した受験生応援コンテンツを公開 ・老朽化した下水道の整備に関するコンテンツを公開	・市内にあるデザインマンホール蓋コンテンツを拡充 ・新選組局長近藤勇デザインのマンホールカードのコンテンツを公開
その他の主な情報発信の取組	・自由研究向けホームページコンテンツを紹介するチラシを市内小学4年生に配布 ・広報動画「マンホールの中に入ってみた」を作成・配信 ・多摩川自然情報館で令和元年東日本台風（台風第19号）の記録写真を展示 ・浸水被害と被害軽減についての意識調査アンケートを実施	・自由研究向けホームページコンテンツを紹介する電子チラシを情報提供システム「すぐる」で市内小学生向けに配信 ・「新選組局長 近藤勇生誕190周年」デザインマンホール蓋を設置（10箇所）※製作に向けたクラウドファンディングを合わせて実施 ・調布市下水道事業経営戦略2025（素案）に係るパブリック・コメントを実施 ・下水道の仕組み等についての記事をゼロカーボン広報紙に掲載	・調布市雨水管理総合計画（素案）に係るパブリック・コメントを実施 ・下水道使用料改定（令和8年10月1日から）を市報や市ホームページに加え、SNSやテレビ広報、調布FM、検針票等の多様な媒体を通じて広く周知 ・「新選組局長 近藤勇生誕190周年」デザインマンホール蓋を設置（5箇所）

下水道事業全般の経営管理を行ったもの

(単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
下水道使用料徴収委託料	313,600,945 東京都水道局への下水道使用料徴収に係る管理及び執行事務の委託	279,843,004 東京都水道局への下水道使用料徴収に係る管理及び執行事務の委託	344,136,136 東京都水道局への下水道使用料徴収に係る管理及び執行事務の委託
公共下水道事業計画策定支援委託料			15,290,000
公営企業会計システム利用料	1,663,068	1,652,244	1,641,420
一般職人件費 (収益的支出分)	124,880,150 ・常勤職員14人分 ・会計年度任用職員(経理専門員、非常勤)1人分	131,531,538 ・常勤職員13人分 ・会計年度任用職員(経理専門員、非常勤)2人分	140,416,128 ・常勤職員13人分 ・会計年度任用職員(経理専門員、非常勤)2人分
会計年度任用職員人件費(報酬・手当)	2,197,125	6,305,480	6,758,955
正規職員人件費	122,683,025	125,226,058	133,657,173

※ そうがかりひ 総係費のうち100万円以上の主な費用を記載

9 消費税及び地方消費税

予算科目(収益的収入／款・項・目)01・02・07

(下水道事業会計)〔決算報告書39ページ〕

下水道事業会計で発生した消費税及び地方消費税に関するもの

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
消費税及び地方消費税対象年度分確定額	-2,542,701	-65,778,589	32,503,000
消費税及び地方消費税中間納付額			
消費税及び地方消費税確定申告額	-2,542,701 令和5年度決算分確定申告還付額	-65,778,589 令和6年度決算分確定申告還付額	32,503,000 令和7年度決算分確定申告納付額
消費税及び地方消費税還付加算金	163,400 令和4年度分還付金に係る還付加算金	1,100 令和5年度分還付金に係る還付加算金	12,900 令和6年度分還付金に係る還付加算金

※ 還付の場合には－(マイナス)で表示

※ 消費税及び地方消費税対象年度分確定額は、中間納付額及び確定申告額の合計額

10 固定資産

予算科目(収益的支出／款・項・目)01・01・05

(下水道事業会計)〔決算報告書39ページ〕

予算科目(収益的支出／款・項・目)01・01・06

(下水道事業会計)〔決算報告書39ページ〕

予算科目(収益的支出／款・項・目)01・02・01

(下水道事業会計)〔決算報告書39ページ〕

予算科目(収益的収入／款・項・目)01・02・05

(下水道事業会計)〔決算報告書39ページ〕

予算科目(資本的支出／款・項・目)01・03・01

固定資産現在高及び繰延収益現在高並びに固定資産に係る収益及び費用

(1) 固定資産現在高

長期間継続的に所有され、事業活動の基礎となる財産の現在高

(単位：円)

区 分	令和6年3月31日現在	令和7年3月31日現在	令和8年3月31日現在
有形固定資産現在高	24,711,392,219	24,719,230,684	23,677,790,959
無形固定資産現在高	3,028,837,404	3,084,891,963	3,194,405,597
合 計	27,740,229,623	27,804,122,647	26,872,196,556

※ 有形固定資産は、土地、ポンプ場等の建物、管路施設等の構築物、機械及び装置、車両運搬具、工具、器具及び備品、完成前の固定資産に係る建設仮勘定が対象。無形固定資産は、流域下水道建設改良負担金等の施設利用権が対象

(2) 繰延収益現在高

減価償却の対象となる固定資産の取得又は改良に充当するため補助金等の交付相当額を長期前受金勘定で整理したものの現在高

(単位：円)

区 分	令和6年3月31日現在	令和7年3月31日現在	令和8年3月31日現在
国庫補助金	1,690,047,665	1,669,286,558	1,683,265,589
都補助金	254,243,151	273,535,233	299,578,432
分担金及び負担金	1,371,625,864	1,221,367,158	1,082,884,333
他会計負担金(企業債元金償還負担金)	6,128,414,774	5,682,102,595	5,239,663,351
他会計負担金(建設改良費に対する一般会計負担金)	2,742,210,040	2,575,774,010	2,407,335,554
受贈財産評価額	5,036,261,574	4,944,782,379	4,836,306,241
合 計	17,222,803,068	16,366,847,933	15,549,033,500

(3) 減価償却費

固定資産の取得に要した経費を、資産の価値の減少に応じて、法定耐用年数の期間にわたり、毎年度費用科目に計上したもの

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
有形固定資産減価償却費	1,682,609,154	1,603,144,378	1,577,261,783
無形固定資産減価償却費	121,131,092	124,795,538	129,137,264
合 計	1,803,740,246	1,727,939,916	1,706,399,047

(4) 資産減耗費

固定資産の撤去に当たって必要となった費用

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
固定資産除却費	3,485,787	1,127,807	45,761,055
管路撤去工事費	7,447,000		
合 計	10,932,787	1,127,807	45,761,055

(5) 企業債利息

固定資産の取得(建設改良費の支出)等に当たって借り入れた企業債の未償還残高に対する利子償還金

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
公共下水道事業	60,231,109	67,804,695	92,270,006

流域下水道事業	44,277,399	43,553,005	44,227,249
合 計	104,508,508	111,357,700	136,497,255
(3)から(5)までの総合計 (資本費合計)	1,919,181,541	1,840,425,423	1,888,657,357

(6) 長期前受金戻入

下水道整備費の財源として充当した補助金や一般会計負担金等の過年度累計額を、減価償却費の償却期間にわたり、毎年度収益科目に計上（減価償却見合い分を収益化）したもの

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
減価償却見合い分	1,228,383,099	1,180,851,691	1,143,059,527
固定資産除却見合い分	2,810,857	648,109	18,997,817
合 計	1,231,193,956	1,181,499,800	1,162,057,344

(7) 企業債償還金

固定資産の取得（建設改良費の支出）等に当たって借り入れた企業債の未償還残高に対する元金償還金

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
公共下水道事業	200,431,658	235,072,951	277,098,747
流域下水道事業	141,262,400	147,686,216	155,986,755
合 計	341,694,058	382,759,167	433,085,502

11 資本的収入

予算科目（資本的収入／款・項・目）01・01・01

（下水道事業会計）〔決算報告書40ページ〕

予算科目（資本的収入／款・項・目）01・02・01

（下水道事業会計）〔決算報告書40ページ〕

予算科目（資本的収入／款・項・目）01・03・01

（下水道事業会計）〔決算報告書40ページ〕

予算科目（資本的収入／款・項・目）01・06・01

（下水道事業会計）〔決算報告書40ページ〕

予算科目（資本的収入／款・項・目）01・08・01

（下水道事業会計）〔決算報告書40ページ〕

改築・更新や新設工事など下水道施設の整備費である建設改良費や企業債償還金等の支出の財源となる収入

(1) 企業債（公共下水道事業）

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
地震対策事業			8,400,000
老朽化・劣化対策事業	182,600,000	133,100,000	186,500,000
自然流下化事業	395,600,000	1,069,000,000	3,700,000
調布都市計画道路整備事業 等に伴う下水道整備事業	128,900,000	185,500,000	39,500,000
合 計	707,100,000	1,387,600,000	238,100,000

(2) 企業債（流域下水道事業）

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
流域下水道事業	155,300,000	187,300,000	237,800,000

合 計	155,300,000	187,300,000	237,800,000
(1)と(2)の総合計 (借入額合計)	862,400,000	1,574,900,000	475,900,000

(3) 国庫補助金

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
下水道防災事業費補助金 (野川処理区大規模雨水処理施設整備事業)	99,861,000 ストックマネジメント工事(第1期-2)	152,500,000 ・ストックマネジメント工事(第1期-3) ・ストックマネジメント実施設計委託(第1期-4) ・管路施設等長期包括的予防保全型維持管理業務(第1期)	184,525,000 ・ストックマネジメント工事(第1期-4) ・ストックマネジメント実施設計委託(第1期-5) ・管路施設等長期包括的予防保全型維持管理業務(第1期) ・下水道管路特別重点調査委託
クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金		550,000 プラグインハイブリッド自動車1台	568,000 バッテリー式電気自動車1台
合 計	99,861,000	153,050,000	185,093,000

(4) 都補助金

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
下水道整備費補助金	68,307,000 ・ストックマネジメント工事(第1期-2) ・ストックマネジメント実施設計委託(第1期-3) ・ストックマネジメント点検業務委託	61,625,000 ・ストックマネジメント工事(第1期-3) ・ストックマネジメント実施設計委託(第1期-4) ・管路施設等長期包括的予防保全型維持管理業務(第1期)	60,977,000 ・ストックマネジメント工事(第1期-4) ・ストックマネジメント実施設計委託(第1期-5) ・管路施設等長期包括的予防保全型維持管理業務(第1期) ・下水道管路特別重点調査委託
合 計	68,307,000	61,625,000	60,977,000

(5) 他会計負担金

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
一般会計負担金	53,145,435	54,998,973	57,082,592
合 計	53,145,435	54,998,973	57,082,592

(6) 分担金及び負担金

(単位：円)

区 分	5年度	6年度	7年度
府中市建設改良負担金			6,048,392 調布排水樋管門扉開閉器及び機側操作盤整備委託
合 計			6,048,392

12 建設改良事業(固定資産購入を含む) 予算科目(資本的支出/款・項・目) 01・01・01

(下水道事業会計)〔決算報告書40ページ〕

予算科目(資本的支出/款・項・目) 01・01・03

(下水道事業会計)〔決算報告書40ページ〕

予算科目(資本的支出/款・項・目) 01・01・04

(下水道事業会計)〔決算報告書40ページ〕

予算科目(資本的支出/款・項・目) 01・02・01

(下水道事業会計)〔決算報告書40ページ〕

快適な市民の生活環境を維持するため、^{かんきよ}管渠の改築・更新や新設等をはじめとする下水道施設の整備を行ったもの

(1) 浸水対策事業 (単位: 円)

件名	5年度	6年度	7年度
根川雨水幹線建設改良負担金	2,362,113	2,602,492	
	根川第1雨水幹線逆流防止ゲート改修委託	六郷排水樋管観測機器更新	
合 計	2,362,113	2,602,492	

(2) 地震対策事業 (単位: 円)

件名	5年度	6年度	7年度
地震対策工事設計等委託料			8,454,600
			下水道耐震化実施設計業務委託
合 計			8,454,600

(3) 老朽化・劣化対策事業 (単位: 円)

件名	5年度	6年度	7年度
ストックマネジメント工事設計等委託料	15,340,490	19,275,300	25,504,600
	・ストックマネジメント実施設計 ・ストックマネジメント工事に伴う特別価格調査委託	・ストックマネジメント実施設計 ・ストックマネジメント工事に伴う特別価格調査委託	・ストックマネジメント実施設計 ・ストックマネジメント工事に伴う特別価格調査委託
ストックマネジメント工事調査等委託料	22,550,000	令和6年度から、包括的民間委託料へ科目移動	
	ストックマネジメント点検業務委託 管路点検27.03km(点検マンホール1,081箇所、1,164スパン)		
管渠等建設工事設計等委託料			78,988,800
			下水道管路特別重点調査委託
包括的民間委託料(ストックマネジメント計画に基づく点検業務)		23,771,000	24,464,000
		管路点検27.36km(点検マンホール1,094箇所、1,140スパン)	管路点検27.77km(点検マンホール1,131箇所、1,206スパン)
ストックマネジメント工事費	313,122,700	304,378,800	303,223,800
	・更生138.37m ・マンホール蓋交換(令和4年度建設改良繰越分含む)357箇所	・更生204.48m ・マンホール蓋交換174箇所	・更生186.88m ・マンホール蓋交換160箇所
合 計	351,013,190	347,425,100	432,181,200

老朽化・劣化対策事業の実施状況	・改築・更新が必要な管路延長(緊急度Ⅰ)1.3kmのうち、改築・更新済の管路延長累計296.91m ・平成27年度からの老朽化・劣化対策事業のマンホール蓋累計交換数1,722箇所 ・老朽化・劣化対策事業における平成30年度からの管路点検延長累計227.85 km(点検マンホール8,178箇所、8,424スパン)	・改築・更新が必要な管路延長(緊急度Ⅰ)1.3kmのうち、改築・更新済の管路延長累計501.39m ・平成27年度からの老朽化・劣化対策事業のマンホール蓋累計交換数1,896箇所 ・老朽化・劣化対策事業における平成30年度からの管路点検延長累計255.21 km(点検マンホール9,272箇所、9,564スパン)	・改築・更新が必要な管路延長(緊急度Ⅰ)1.3kmのうち、改築・更新済の管路延長累計688.27m ・平成27年度からの老朽化・劣化対策事業のマンホール蓋累計交換数2,056箇所 ・老朽化・劣化対策事業における平成30年度からの管路点検延長累計282.98km(点検マンホール10,375箇所、10,721スパン)
-----------------	--	--	---

(4) 自然流下化事業 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
自然流下化設計等委託料			5,218,631 ・家屋事後調査委託 ・管渠清掃及び汚泥運搬、汚泥処理委託
自然流下化に伴う土地賃借料	6,489,612 12箇月分(地積984㎡)	3,888,000 12箇月分(地積632.88㎡)	
自然流下化工事費	356,210,000 調布市公共下水道42号幹線新設工事(既済部分)	1,032,115,373 調布市公共下水道42号幹線新設工事(完了)	513,150 ポンプ場流入管閉塞工事
自然流下化に伴う移設工事等補償費	33,145,008 水道管、ガス管支障移設	32,873,375 水道管、ガス管、架空線等の支障移設	
自然流下化に伴う物件補償費			789,439 物件補償2件
都・国道等工事監督事務負担金		71,810	
道路復旧工事費負担金		18,411,700	
合 計	395,844,620	1,087,360,258	6,521,220

(5) 調布都市計画道路整備事業等に伴う下水道整備事業 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
管路建設改良工事設計等委託料	8,357,087	6,400,000	73,376,400
管路建設改良工事費	152,887,928 ・新設212.48m ・撤去、廃止228.5m	194,306,261 ・新設926.03m ・撤去、廃止395.31m ・更生26.35m	10,231,234 ・新設28.2m ・撤去、廃止28.2m
合 計	161,245,015	200,706,261	83,607,634

(6) 建設改良事務費 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
-----	-----	-----	-----

一般職人件費（資本的支出分）	41,089,586	39,763,628	34,872,595
	常勤職員4人分	常勤職員4人分	常勤職員4人分
その他建設改良事務費	93,274	71,435	73,256
	職員旅費	職員旅費	職員旅費
合 計	41,182,860	39,835,063	34,945,851

(7) 流域下水道事業 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
流域下水道建設負担金	79,211,465	111,760,958	161,450,559
	森ヶ崎水再生センター及び南部スラッジプラントにおける老朽化対策、震災対策、エネルギー温暖化対策のための設備の更新(再構築)	森ヶ崎水再生センター及び南部スラッジプラントにおける老朽化対策、震災対策、エネルギー温暖化対策のための設備の更新(再構築)	森ヶ崎水再生センター及び南部スラッジプラントにおける老朽化対策、震災対策、エネルギー温暖化対策のための設備の更新(再構築)
流域下水道改良負担金	83,263,772	84,571,654	101,065,424
	流域下水道における各種設備の機器交換、大規模改築等	流域下水道における各種設備の機器交換、大規模改築等	流域下水道における各種設備の機器交換、大規模改築等
合 計	162,475,237	196,332,612	262,515,983

(8) 固定資産購入費 (単位：円)

件 名	5年度	6年度	7年度
固定資産購入費	288,750	4,128,310	2,556,350
	ソフトウェア2種類	庁用自動車1台	庁用自動車1台
合 計	288,750	4,128,310	2,556,350

13 下水道事業全体の主な業務量

下水道事業全体の経営活動に係る主な業務量

区 分	5年度	6年度	7年度
公共下水道事業計画で定めた公共下水道整備の全体計画における処理区域面積(ha)	2,037.30	2,037.30	2,037.30
公共下水道事業計画における処理区域面積(ha)	1,954.73	1,954.73	1,954.73
処理区域内人口(人)	239,247	239,726	241,841
総人口(行政人口)に対する下水道処理人口普及率(%)	100	100	100
水洗便所設置済人口(人)	239,198	239,677	241,794
水洗化率(%)	99.98	99.98	99.98
年間総処理水量(m³)	39,528,898	42,251,762	35,681,936
年間有収水量(m³)	24,209,862	24,328,003	24,296,665
水洗便所設置済人口一人当たり平均有収水量(m³)	101	102	100
下水道管布設延長(km)	565	566	567
污水管延長(km)	15	17	18
雨水管延長(km)	27	26	26
合流管延長(km)	523	523	523
ポンプ場箇所数(箇所)	1	1	
排水樋管箇所数(箇所)	1	1	1

雨水吐口箇所数(箇所)	30	30	30
-------------	----	----	----

※ 各年度 3 月 3 1 日時点の実績値

14 排水設備設計審査等

汚水を公共下水道へ排水するために設置する排水設備の設計審査等の業務を行ったもの

区 分		5年度	6年度	7年度
指定下水道工事店登録件数(件)		345 (うち市内34)	347 (うち市内34)	330 (うち市内31)
排水設備確認申請	完了件数(件)	709	731	808
	戸数(戸)	1,560	2,066	2,267
公共汚水ます設置完了数(基)		327	481	407
雨水浸透ます設置完了数(基)		3,073	2,562	3,233
浸透トレンチ設置完了延長(m)		1,236	1,099	1,510
雨水浸透施設等の設置による雨水浸透能力(m ³ /h)		4,412.66	3,361.26	4,461.28

15 危機管理体制の構築

(1) 災害対応訓練の実施

ア 調布市・狛江市合同水防訓練(開催日:令和7年5月25日)

(ア) 現場訓練 排水ポンプ運搬設置訓練、樋管操作訓練

(イ) 通信訓練

調布市・狛江市の下水道課・防災担当課職員(市役所本庁舎指揮班・現場対応班)で構築した連絡体制(電話・SNS)を活用した災害に関する情報伝達訓練の実施

イ 多摩ルールに基づく簡易情報連絡訓練(開催日:令和7年4月22日)

災害時の復旧支援を目的とした多摩ルールに基づき、震災を想定した電話及びメールによる情報伝達訓練の実施

ウ 可搬式排水ポンプ稼働訓練(開催日:令和7年7月3日、令和7年10月8日)

下水道課職員による災害時における応急復旧業務に関する協定締結事業者と連携した、多摩川河川敷での可搬式排水ポンプ(3.3m³/分)の稼働訓練の実施

(2) 災害時の協力体制の構築

令和7年度下水道に関する新規災害協定なし

16 調布市と狛江市の水害対応等に関する検討会の開催

調布市と狛江市が共に連携し、羽毛下・根川雨水幹線流域(六郷排水樋管の流域)の地域における洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策等を総合的かつ一体的に推進することを目的として開催

(1) 会員構成等 調布市職員、狛江市職員(事務局は両市環境部下水道課で運営)

検討会の下部機関として幹事会(検討会実施事項の基礎調査を行う。)及び検討部会(学識経験者を交え、浸水被害軽減のためのハード対策等の浸水被害軽減に関することを検討する。)も別に設置(令和7年度は開催なし)

(2) 開催日・主な議題

回	開催日	内容
第14回	令和7年4月11日	浸水対策事業について

17 雨水管理総合計画策定等検討委員会の開催

近年の降雨の局地化・集中化・激甚化など、気候変動の影響等を考慮した取組を推進するため、浸水対策等の中長期的な計画の策定について有識者等により検討を行うもの

(1) 委員会の名称 調布市雨水管理総合計画策定等検討委員会

(2) 委員構成 有識者（３人）、行政（５人）、市民（３人） 男９人、女２人

回	開催日	内容
第４回	令和７年９月２９日	雨水管理総合計画に位置付ける対策案 雨水管理総合計画（たたき台）について
第５回	令和８年３月２４日	調布市雨水管理総合計画を策定（市長報告）

資源循環推進課

1 施設管理運営 予算科目（款・項・目）20・10・05 [決算書279ページ]

クリーンセンター、利^り来^き留^い館^くの管理運営などを行うもの
クリーンセンター概要

(1) 所在地 野水2丁目1番地1

(2) 機能概要

ア 管理棟 鉄骨造2階建て。収集（持込みを含む。）した粗大ごみの選別・解体等

イ 作業棟 鉄骨造2階建て。収集した古紙・古布・ビン・カン・シュレッター紙・牛乳パックの一時集積、積替え及びし尿の希釈放流等

(3) 操業日 月曜日から土曜日まで（年末年始を除く。）

(4) 操業時間 午前8時30分から午後5時まで。ただし、粗大ごみの持込みは、午前9時から正午まで及び午後1時30分から午後4時30分まで

2 三多摩は一つなり交流事業 予算科目（款・項・目）20・10・05 [決算書279～281ページ]

廃棄物を排出する調布市と最終処分を受け入れている日の出町の住民とが、より一層相互理解を深め、円滑に一般廃棄物広域処分事業を推進することを目的に行うもの

東京たま広域資源循環組合の補助金交付事業として開始した平成11年度以降、年1回開催している（令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響に伴い中止）。

令和7年度は、日の出町の住民を対象として、「ニツ塚処分場車窓見学」、「キューピーマヨテラス見学」、「深大寺散策」、「クリーンプラザふじみ見学」を実施した。

3 廃棄物減量及び再利用促進審議会運営事業 予算科目（款・項・目）20・10・10 [決算書281ページ]

調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第72条の規定により設置。市長が諮問する一般廃棄物の減量、再利用の促進等に関する事項について検討・協議し、答申・建議するもの

(1) 委員構成等 市民（4人）、学識経験者（2人）、市内で事業を営む者（4人）、市内のリサイクル推進団体が推薦する者（3人）及び市職員（1人）をもって組織 男10人、女4人

(2) 審議会開催 4回

回	開催日	主な検討事項
第1回	令和7年 5月22日	1 第8回エコフェスタちょうふ(令和7年6月14日開催)について 2 令和7年度審議会について 3 令和6年度ごみ量について 4 令和7年度一般廃棄物処理実施計画及び重点的な取組について 5 令和6年度一般廃棄物処理実施計画に基づく重点事項の実績について
第2回	令和7年 6月14日	第8回エコフェスタちょうふ開催
第3回	令和7年 11月10日	1 調布市指定収集袋の仕様見直しに向けた現状と課題について 2 第8回エコフェスタちょうふの結果報告について 3 ザ・リサイクル(令和7年7月20日発行第99号)の発行について

		4 ザ・リサイクル(令和7年11月20日発行第100号)の発行について 5 ごみ減量啓発作品の審査結果について
第4回	令和8年 2月6日	1 製品プラスチックの資源化に向けた現状と課題について 2 令和8年度審議会について

4 じんかい収集

予算科目(款・項・目) 20・10・10 [決算書281ページ]

廃棄物の適正処理を目的として、定められた施設への収集運搬やごみ置場の管理等を行うもの

(1) 可燃ごみ収集運搬

ア 収集形態 委託収集

イ 収集回数 週2回 調布市指定収集袋による戸別収集

ウ 処理方法 ふじみ衛生組合「クリーンプラザふじみ」へ搬入し、焼却処理している。焼却残さについては、灰中金属を取り除いた後、全量を東京たま広域資源循環組合でエコセメント化している。

エ 収集量

(単位：t)

区 分		5年度	6年度	7年度
可燃ごみ	委 託	26,404	26,131	25,935
	持 込	7,868	7,945	7,809
	合 計	34,273	34,076	33,744

※ 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合がある。

(2) 不燃ごみ収集運搬

ア 収集形態 委託収集

イ 収集回数 隔週1回(夏季7月から9月までは4週に1回) 調布市指定収集袋による戸別収集

ウ 処理方法 ふじみ衛生組合「リサイクルセンター」へ搬入し、中間処理後、資源化している。

エ 収集量

(単位：t)

区 分		5年度	6年度	7年度
不燃ごみ		2,951	2,939	2,795

(3) 有害ごみ収集運搬

ア 収集形態 委託収集

イ 収集回数 隔週1回(夏季7月から9月までは4週に1回。不燃ごみ収集日と同一日) 戸別収集

ウ 処理方法 ふじみ衛生組合「リサイクルセンター」へ搬入・保管し、水銀再処理工場で中間処理後、資源化している。

エ 収集量

(単位：t)

区 分		5年度	6年度	7年度
有害ごみ		80	82	81

オ 備考 令和7年4月から、小型充電式電池(リチウムイオン電池等)の戸別収集を開始

(4) 動物の死体処理

ア 収集形態 委託収集

イ 収集回数 連絡又は申込みにより随時

ウ 処理方法 府中市にある慈恵院多摩犬猫霊園において火葬し、合同供養している。

なお、は虫類や小鳥などの小動物（飼育動物を除く。）については、ふじみ衛生組合に搬入している。

エ 収集量

(単位：頭)

区 分		5年度	6年度	7年度
動物	飼主あり	57	54	65
	飼主なし	477	506	579
	合 計	534	560	644

(5) ごみ置場管理事務

ア ごみ排出指導

(単位：件)

区 分	5年度	6年度	7年度
排 出 指 導	1,520	1,437	1,738

イ ごみ置場設置申請

(単位：件)

内 容	5年度	6年度	7年度
戸 建 住 宅	367	396	390
集 合 住 宅	79	60	76
合 計	446	456	466

ウ 開発事業指導要綱に関するごみ置場協議件数

(単位：件)

区 分	5年度	6年度	7年度
集 合 住 宅	20	20	25

(6) ふれあい収集

ごみ置場にごみを排出することが困難な要介護認定者及び障害者等を対象に、職員等がごみの収集を行うもの

区 分	5年度	6年度	7年度
家庭ごみ収集利用世帯(世帯)	374	319	340
粗大ごみ収集件数(件)	310	268	234

(7) 一般廃棄物処理手数料収納状況

内 容	5年度	6年度	7年度
調 定 額(円)	540,387,998	542,265,135	538,686,946
収 納 額(円)	540,387,998	542,265,135	538,686,946
収 納 率(%)	100.00	100.00	100.00

(8) 不法投棄処理・対策

不法投棄されたごみを処理するとともに、定期的に重点警戒地域を中心にパトロールを実施したほか、不法投棄されやすい集合住宅のごみ置場や駐車場等を清掃指導員が巡回し、不法投棄防止シールの掲示等の対策を集合住宅の所有者・管理者に依頼した。

区 分	5年度	6年度	7年度
不法投棄処理(件)	108	143	114
不法投棄禁止等シール配布(枚)	40	41	34

5 減免処理状況

予算科目(款・項・目) 20・10・10 [決算書281ページ]

家庭ごみの一部有料化に伴い、高齢世帯や生活保護受給世帯等を対象に、可燃ごみ及び不燃ごみ専用の指定収集袋を交付するもの

(単位：件)

区 分	5年度	6年度	7年度
-----	-----	-----	-----

生活保護受給世帯等 (累計)	2,506	2,239	2,189
高齢者等	7,862	8,249	8,410
身体障害者等	318	326	294
合 計	10,686	10,814	10,893

上記のほか、道路、公園の清掃活動用のボランティア袋、育児・介護用のおむつ袋を交付した。

6 資源物収集 予算科目(款・項・目) 20・10・10 [決算書281～283ページ]

資源の再利用とごみ減量を推進するため、資源物の地域集団回収を行っている市民団体や回収業者に奨励金を交付するもの。また、決められた曜日に市内各家庭及び事業所が排出した資源物を収集し、資源化施設に搬送するもの

(1) 資源物地域集団回収事業奨励金交付状況 ※

区 分		5 年度	6 年度	7 年度
古紙類	重 量(t)	2,374	2,215	1,800
	奨励金額(円) (市民団体)	18,993,760	17,723,752	14,401,784
	奨励金額(円) (回収業者)	9,474,960	8,861,876	7,200,892
鉄類	重 量(t)	34	31	24
	奨励金額(円) (市民団体)	270,904	250,728	190,096
	奨励金額(円) (回収業者)	135,148	125,364	95,048
ビン類	重 量(t)	61	60	60
	奨励金額(円) (市民団体)	491,840	479,040	480,480
	奨励金額(円) (回収業者)	245,920	239,520	240,240
アルミニウム類	重 量(t)	92	87	70
	奨励金額(円) (市民団体)	732,120	692,192	563,960
	奨励金額(円) (回収業者)	365,044	346,096	281,980
古布	重 量(t)	245	247	193
	奨励金額(円) (市民団体)	1,961,952	1,975,856	1,544,208
	奨励金額(円) (回収業者)	980,936	987,928	772,104
牛乳パック	重 量(t)	16	16	14
	奨励金額(円) (市民団体)	131,656	128,704	110,712
	奨励金額(円) (回収業者)	65,828	64,352	55,356
小 計	重 量(t)	2,823	2,656	2,161
	奨励金額(円) (市民団体)	22,582,232	21,250,272	17,291,240

	奨励金額(円) (回収業者)	11,267,836	10,625,136	8,645,620
合 計	奨励金額(円)	33,850,068	31,875,408	25,936,860

※ 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合がある。

(2) 資源物収集運搬

ア 容器包装プラスチック収集運搬

(ア) 収集形態 委託収集

(イ) 収集回数 週1回 戸別収集

(ウ) 処理方法 令和6年度まではふじみ衛生組合「リサイクルセンター」へ搬入し、中間処理後、資源化していたが、リサイクルセンターの老朽化による施設更新工事に伴い、工事期間中は同組合「クリーンプラザふじみ」へ搬入し、熱回収による発電に活用している。

イ その他資源物収集運搬

(ア) 収集形態 委託収集

(イ) 収集回数・処理方法

a 古紙類・古布 週1回 戸別収集。クリーンセンターに集積後、資源化している（シュレッター紙を含む。）。

b カン 週1回 戸別収集。クリーンセンターで中間処理後、資源化している。

c ビン 週1回 戸別収集。クリーンセンターに集積後、資源化している。

d ペットボトル 隔週1回（夏季7月から9月までは4週に3回） 戸別収集。令和6年度まではふじみ衛生組合「リサイクルセンター」へ搬入し、中間処理後、資源化していたが、リサイクルセンターの老朽化による施設更新工事に伴い、一部民間企業によるリサイクルを除き同組合「クリーンプラザふじみ」へ搬入し、熱回収による発電に活用している。

e 牛乳パック 随時（拠点回収） クリーンセンターに集積後、資源化している。

f 使用済小型家電 随時（拠点回収） クリーンセンターに集積後、資源化している。

ウ 収集量

（単位：t）

区 分		5年度	6年度	7年度
資 源 物	古 紙 類※1	8,180	8,060	7,841
	古 布	1,093	1,048	1,029
	牛乳パック※2	20	18	18
	ビ ン	1,712	1,645	1,567
	カ ン	570	559	544
	ペ ッ ト ボ ト ル	1,030	1,104	1,058
	プ ラ ス チ ッ ク	3,907	3,939	3,830
	使用済小型家電	5	5	6
	合 計※3	16,517	16,378	15,894

※1 古紙類の内訳 新聞紙・雑誌・本・段ボール・シュレッター紙・雑紙・牛乳パック（飲料用紙パック）

※2 拠点回収分

※3 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合がある。

(3) ペットボトルキャップの拠点回収

牛乳パックの拠点回収を活用したペットボトルキャップのリサイクル事業について、令和7

年度から地域福祉センター、市立小学校2校（第三小学校及び飛田給小学校）で開始した。

(4) ^{リサイクル}利再来留館

再利用（リユース）を目的として、市内各戸から収集した粗大ごみ及びクリーンセンターへ持ち込まれた粗大ごみの中から再生利用可能な家具等を展示・売却するもの

ア 所在地 富士見町3丁目2番地1（中央自動車道高架下）

イ 開館日 月曜日から土曜日まで（年末年始を除く。）

ウ 開館時間 午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで

エ 売却実績等

区 分	5年度 ※	6年度 ※	7年度
開 館 日 数(日)	0	126	311
来 館 者 数(人)	0	3,172	6,908
購 入 件 数(件)	148	839	1,495
売 払 収 入(円)	198,000	1,044,900	1,981,700

※ 令和4年9月16日から令和6年10月28日まで中央自動車道高井戸～稲城IC間
橋梁耐震補強工事に伴い休館（購入件数及び売払収入には、令和5年6月、令和6年2
月、同年6月及び同年10月開催の臨時展示販売会の実績を含む。）。令和6年10月
29日から再開

(5) 粗大ごみ収集申込受付業務

粗大ごみの収集（持込みを含む。）申込受付を電話及びインターネットで行うもの

ア 受付形態 委託

イ 受付件数

（単位：件）

区 分		5年度	6年度	7年度
受付件数	電 話	47,719	47,896	45,321
	インターネット	76,440	78,785	81,641
	合 計	124,159	126,681	126,962

(6) 粗大ごみ収集運搬

ア 収集形態 委託収集

イ 収集回数 申込みにより随時戸別収集

ウ 処理方法 クリーンセンターで選別・解体し、鉄・アルミなどの資源物を抽出後、ふじみ
衛生組合「クリーンプラザふじみ」及び「リサイクルセンター」へ搬入している。

また、抽出した有用金属やリサイクル可能な羽毛布団を専門業者に引き渡すことにより、
粗大ごみの再資源化を推進している。

エ 収集量

（単位：t）

区 分		5年度	6年度	7年度
粗大ごみ	可燃性粗大	1,138	1,158	1,217
	不燃性粗大	406	336	262
	資源粗大	417	399	391
	合 計	1,961	1,893	1,870

※ 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合がある。

(7) 使用済小型家電の回収

市内に設置した専用の回収ボックスで使用済小型家電を拠点回収し、専門業者に引き渡すこ

とにより、有用金属の再資源化を推進するもの

ア 回収ボックス設置箇所数 10 箇所（調布市役所 2 階、神代出張所、クリーンセンター、利再来留館、染地児童館、金子地域福祉センター、ふじみ交流プラザ、西部公民館、北部公民館、市民プラザあくろす）

イ 回収量 (単位：k g)

	5年度※	6年度※	7年度
回収量	4,550	5,130	6,130

※ 利再来留館は、令和 4 年 9 月 16 日から令和 6 年 10 月 28 日まで中央自動車道高井戸～稲城 IC 間橋梁耐震補強工事に伴い休館。令和 6 年 10 月 29 日から再開

(8) 家庭用廃食用油リサイクル回収事業

令和 7 年 7 月から開始した資源物収集事業。毎月第 4 土曜日の午前に各地域福祉センターで家庭用廃食用油を回収し、専門業者に引き渡すことにより SAF (Sustainable Aviation Fuel・持続可能な航空燃料) 等への再資源化を推進するもの。令和 8 年 1 月からは、クリーンセンターでも拠点回収を開始した。

(9) 資源物の持去り対策

条例で禁止している資源物の持去り行為を防止するため、重点警戒地域を中心に早朝パトロールを行った。

7 ごみ減量運動事業

予算科目 (款・項・目) 20・10・10

[決算書 283～285 ページ]

ごみの減量・リサイクル及び適正排出を促すため、ごみ減量等の啓発活動や補助金の交付などを行うもの

(1) 地域懇談会・説明会及び施設見学会実施状況

内 容		5年度	6年度	7年度	
地域懇談会・説明会		件数(件)	25	20	23
		参加人数(人)	1,020	987	1,059
施設見学会	※ 市立小学校	件数(件)	20	20	20
		参加人数(人)	1,972	2,075	1,917
	各種団体	件数(件)	3	4	3
		参加人数(人)	50	48	82

※ 市立小学校は、社会科見学としてクリーンプラザふじみを見学

(2) ごみ減量キャンペーン

令和 2 年度以降、広報を中心とした下記の方法に改め、令和 7 年 9 月 29 日から同年 10 月 6 日まで実施した。

ア 調布市役所 2 階資源循環推進課窓口及び市内公共施設における水切りネットの配布

イ イトーヨーカドー国領店及び調布パルコと連携し、店内にて水切りネットの配布

ウ 調布市役所 2 階資源循環推進課窓口及び市内公共施設並びに市内小中学校における令和 6 年度入賞作品のごみ減量ポスター及びちょうふエコ川柳の掲示

(3) エコフェスタちょうふ

ごみ減量とリサイクルを見て、触って、学ぶをテーマに、廃棄物減量及び再利用促進審議会

等との共同イベント、第8回エコフェスタちょうふを、令和7年6月14日にイトーヨーカドー一国領店敷地内で開催した。

なお、令和7年度は、市制施行70周年記念事業として開催した。

(4) 調布市ごみ減量・リサイクルキャラクターの活用

令和4年度から令和6年度にかけて、相互友好協力協定に基づき白百合女子大学と共同制作した調布市ごみ減量・リサイクルキャラクター「リサッチョ」「エコッチョ」を、各種広報媒体に活用した。

(5) ごみ減量・リサイクル広報

ア 広報誌「ザ・リサイクル」第99号から第101号までを発行し、市内全戸に配布した。

イ 小中学生を対象とした広報誌「ザ・リサイクルジュニア」第6号を発行し、市内の各小中学校に配信した。

ウ 調布エフエム放送でごみの減量及びリサイクルについての広報活動を行った。

エ 「これならできるごみ減量・リサイクル」に沿った5つのテーマによるごみ減量ポスターと、ごみの減量やリサイクルをテーマにした「ちょうふエコ川柳」を募集した。ごみ減量ポスターは175点、川柳は232句の応募の中から優秀作品及び特別賞を選出し、3R推進・環境負荷の低減に向けた意識啓発に活用した。

なお、令和7年度は、市制施行70周年記念事業として実施した。

(6) ごみリサイクルカレンダー発行

ごみの適正排出やリサイクル促進を図るため、令和8（2026）年度版調布市ごみリサイクルカレンダーを発行し、市内全戸に配布した。

(7) 「調布ごみナビ」の運用

電気通信大学等との産学官連携に基づき開発したごみ分別支援A I「調布ごみナビ」を令和7年4月から運用開始した。

また、「調布ごみナビ」の機能拡充として、「A I 電話自動応答サービスによる業務支援機能」及び「A I による画像処理技術を活用した組成分析調査機能」の開発を、東京都の環境政策加速化事業補助金を活用し、令和7年度から2年間の計画期間で開始した。

(8) 生ごみ処理装置等の購入費補助金の交付状況

区 分		5年度	6年度	7年度
生ごみたい肥化容器	件 数(件)	21	15	23
	金 額(円)	85,500	87,900	91,400
生ごみ処理剤	件 数(件)	58	41	39
	金 額(円)	88,300	74,800	77,100
生ごみ処理装置	件 数(件)	270	219	190
	法人用(件)	2	0	0
	金 額(円)	5,637,400	3,891,000	3,231,800
	法人用(円)	1,000,000	0	0
合 計	件 数(件)	349	275	252
	金 額(円)	5,811,200	4,053,700	3,400,300

(9) 事業系可燃ごみの調査及び指導

ふじみ衛生組合「クリーンプラザふじみ」において、一般廃棄物収集運搬業許可業者に対す

る搬入ごみの抜取り調査を30回実施するとともに、回収時に分別を徹底するよう指導した。

(10) ごみ組成分析調査

ごみ減量及び適正処理に関する施策の基礎資料とするため、令和7年度は市内から排出された「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「容器包装プラスチック」の組成分析調査を実施した。

(11) せん定枝資源化支援事業

家庭等でせん定した枝木の自家処理のため、希望によりせん定枝破碎粉碎車（チップカー）を配車し、チップ化して引き渡すことで、たい肥化など再利用を促進するもの

区 分	5年度	6年度	7年度
申 込 件 数(件)	194	243	214
処 理 量(t)	28	41	29

(12) ごみ資源化調査

ごみの資源化に向けた調査、研究及び先進事例の視察を実施するもの

ア 実施日 令和7年11月11日・12日

視察先 豊島硝子株式会社松戸工場及び天栄工場

イ 実施日 令和7年12月3日・4日

視察先 ジャパンテック株式会社東日本PETボトルMRセンター及び株式会社エフピコ
関東リサイクル工場

(13) 一般廃棄物処理基本計画（第3次）

「すべての人の取組と互いの連携で、より一層の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進と環境負荷の低減を進め、持続可能な社会の実現を目指す」ことを基本理念とし、4つの基本方針及び6つの重点施策を基に、「総ごみ量の削減」、「二酸化炭素排出量の削減」及び「最終処分量ゼロ」の維持・継続を成果目標に位置付けた、清掃事業のマスタープランとなる一般廃棄物処理基本計画（第3次）に基づき、適正な廃棄物処理を推進した。

計画期間 令和5年度から令和12年度まで（8年間）

(14) エコセメント普及啓発事業

エコセメント事業を市民に周知し、理解を深めるとともに、市民のリサイクル意識の向上を図ることを目的に行うもの

エコセメントを用いたコンクリート製品を使用した公共事業の中から1箇所、東京たま広域資源循環組合の補助金を活用し、エコセメント普及啓発用説明板を設置した。

5年度	6年度	7年度
調布市立布田小学校	調布基地跡地運動広場	調布市染地公園

8 災害廃棄物処理対策費 予算科目（款・項・目）20・10・10〔決算書285ページ〕

災害時に生じる廃棄物を適正かつ円滑に処理できる体制の構築を目的として、市民への啓発活動等を行うもの

令和7年度は、災害時のごみの出し方について広報・啓発を図るため、防災フェアや地域防災訓練等において、説明や広報用マグネットクリップの配布を行った。

また、「調布ごみナビ」を活用し、災害時の分別案内機能の開発に着手した。

9 じんかい処分 予算科目（款・項・目）20・10・10〔決算書285ページ〕

可燃ごみの焼却処理及び焼却灰の資源化を行うもの

- (1) ふじみ衛生組合「クリーンプラザふじみ」 (単位：t)

区 分	5年度	6年度	7年度
処理量	35,411	35,234	34,961

- (2) 東京たま広域資源循環組合「エコセメント化施設」 (単位：t)

区 分	5年度	6年度	7年度
資源化量(エコセメント)	3,959	4,010	4,116

10 じんかい収集車両管理 予算科目(款・項・目) 20・10・10 [決算書285ページ]

廃棄物の適正な処理に使用する車両等の維持管理を行うもの (単位：台)

名 称	台数	名 称	台数
パッカー車(2トン車)	2	ダンプ(2トン車)	2
トラック(1トン車)	1	トラック(軽自動車)	5
バン(軽自動車)	2	せん定枝破碎粉碎車	1
			合計 13

※ 令和8年3月31日現在(リース車両を含む。)

11 し尿収集処理 予算科目(款・項・目) 20・10・15 [決算書285～287ページ]

一般廃棄物処理基本計画及び一般廃棄物処理実施計画に基づき、生活環境の保全上支障が生じないように、し尿等を指定場所から収集し、運搬処理を行うもの

- (1) し尿収集(委託分)車両台数 2業者 2台
(2) 浄化槽汚泥収集(許可分)車両台数 3業者 7台
(3) し尿処理状況

区 分	5年度	6年度	7年度
し尿収集処理量(t) (委託分)	267	256	237
し尿処理費(円)	23,182,896	23,182,896	23,352,912

- (4) 浄化槽処理状況 (単位：t)

区 分	5年度	6年度	7年度
浄化槽汚泥処理量(許可分)	64	87	60

12 ごみ処理経費の推移

ごみの処理に係る費用を集計したもの (単位：円)

内 容	5年度	6年度	7年度
清掃事業費 (し尿処理費を含む。)	2,949,728,970	3,474,971,480	3,538,548,990
1人当たり (し尿処理費を除く。)	12,254	14,408	14,592
1世帯当たり (し尿処理費を除く。)	23,710	27,688	27,792
1t当たり (し尿処理費を除く。)	49,711	59,489	62,165

※ 人口及び世帯数については、各年度とも10月1日現在の住民基本台帳人口による数値

13 収集量及び収集対象人口の推移

ごみ・資源物の収集量及び市民1人1日当たりの排出量を集計したもの

区 分			5年度	6年度	7年度
人口(各年10月1日現在)(人)			238,820	239,580	240,897
可燃 ごみ	収集(家庭系)	年間収集量(t)	26,404	26,131	25,935
	持込み(事業系)	年間収集量(t)	7,869	7,945	7,809
	可燃ごみ総収集量(t)		34,273	34,076	33,744
	1人1日当たりの排出量(g)		392.1	389.7	383.8
不燃 ごみ	不燃ごみ	年間収集量(t)	2,951	2,939	2,795
	1人1日当たりの排出量(g)		33.8	33.6	31.8
有害 ごみ	有害ごみ	年間収集量(t)	80	82	81
	1人1日当たりの排出量(g)		0.9	0.9	0.9
粗大 ごみ	粗大ごみ	年間収集量(t)	1,961	1,893	1,870
	1人1日当たりの排出量(g)		22.4	21.6	21.3
資源 物	収集資源物	年間収集量(t)	16,517	16,378	15,894
	集団回収資源物	年間収集量(t)	3,089	2,656	2,161
	資源物総収集量(t)		19,606	19,034	18,056
	1人1日当たりの排出量(g)		224.3	217.7	205.3
総合 計	年間収集量(t)		58,871	58,024	56,546
	1人1日当たりの排出量(g)		673.5	663.5	643.1

※ 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合がある。

14 収集ごみ・資源化率の状況

ごみ・資源物の資源化量及び資源化率について報告するもの

(単位：t)

区 分	5年度	6年度	7年度
行政収集の資源化量A	16,474	14,275	12,491
集団回収の資源化量B	3,089	2,656	2,161
焼却灰のエコセメント化等の資源化量C	3,959	4,010	4,116
資源化量合計D(=A+B+C)	23,522	20,941	18,769
年間総収集量E	58,871	58,024	56,546
総資源化率F(=D/E)	40.0%	36.1%	33.2%

※ 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合がある。

15 資源物売払の状況

回収した資源物の売払について報告するもの

(単位：円)

品 目	5年度	6年度	7年度
スチール缶	8,336,185	6,174,421	6,734,783
アルミ缶	81,276,910	99,962,885	107,376,577
生ビン	126,767	116,741	109,876
新聞	1,056,441	1,091,874	1,047,429
雑誌	5,233,145	5,060,103	4,855,118

段ボール	7, 983, 122	8, 035, 705	8, 009, 850
シュレッター紙	83, 155	110, 512	114, 717
しんちゅう 真 鍮	240, 025	194, 804	235, 990
銅	1, 276, 863	1, 244, 063	958, 254
アルミニウム	1, 398, 980	1, 762, 497	1, 693, 446
粗大鉄	11, 775, 137	8, 993, 248	8, 070, 535
羽毛布団	343, 288	1, 001, 715	1, 472, 130
牛乳パック	108, 680	103, 290	98, 340
古布	2, 658, 866	4, 228, 697	4, 153, 611
家電等コード類	127, 094	129, 360	927, 080
家電等モーター・トランス	157, 960	157, 630	742, 720
家電等基板読取部	18, 865	17, 380	36, 520
家電等ハードディスク	5, 137	4, 180	19, 580
使用済小型家電	100, 100	112, 860	269, 720
粗大ごみリサイクル品(※1)	198, 000	1, 044, 900	1, 981, 700
廃食用油(※2)			25, 036
リチウムイオン電池等(※3)			21, 329
合 計	122, 504, 720	139, 546, 865	148, 954, 341

※1 リサイクル館は、令和4年9月16日から令和6年10月28日まで中央自動車道高井戸～稲城IC間橋梁耐震補強工事に伴い休館（売払収入には、令和5年6月、令和6年2月、同年6月及び同年10月開催の臨時展示販売会の実績を含む。）。令和6年10月29日から再開

※2 令和7年7月から開始

※3 リチウムイオン電池等は、令和4年2月から拠点回収し、資源化を開始。令和7年7月からは、東京都主催の「リチウムイオン電池等広域的資源化モデル事業」に参加（有償）

16 事業所等の3R活動支援

市内事業所等のごみ減量の取組を支援するもの

(1) エコ・オフィス制度

事業所等からの申請に基づき、ごみ減量・リサイクルの取組状況を審査し、ゴールド・シルバー・ブロンズの3段階のランクで調布エコ・オフィスに認定して、3R活動を支援している。

令和7年度末現在、29箇所の事業所を認定している。

(2) ごみ減量・リサイクル協力店制度

小売店からの申請に基づき、資源物の店頭回収などの状況を審査し、ごみ減量・リサイクル協力店に認定して、3R活動を支援している。

令和7年度末現在、16箇所の小売店を認定している。

令和7年度は、市内事業所でのリサイクル品目回収状況及び廃食用油の排出状況を訪問又は電話にて調査実施し、今後の事業展開への準備を進めた。